

全自動洗濯乾燥機

品番 HWD-7256G/7156G

このたびは、お買い上げまことにありがとうございました。
ご使用前に、この「取扱説明書」と添付の「保証書」をよく
お読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、
いつでも取り出せる場所に「保証書」とともに大切に保管
してください。

**保証書と引渡し確認書は必ず
お受け取りください。**



目次

安全上のご注意	1
各部の名称と外形寸法	6
操作部の名称とはたらき	8
試運転モニターの運転方法	9
試運転モニターについて	10
運転のしかた	14
運転についての確認	17
洗剤、柔軟剤のセット方法	17
プログラムの内容	18
各種設定のしかた	20
積算カウンターの表示	26
停電時の処置	28
トラブルモニターについて	29
点検のお願い	31
修理を依頼される前に	34
アフターサービスと保証について	35
転居または移設の場合	35
仕様	36
据付工事編	37
機械の据え付け	40
電気工事	45
配管工事	46
プログラム設定内容記録表	58

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



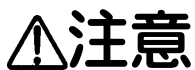
安全上のご注意

★必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

★ここに示した注意事項は

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。絵表示について詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

オーナーの方へ

- 「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、製品にも注意ラベルで表示してあります。お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守ってお使いいただけるよう管理・指導をしてください。
- 製品に表示している注意ラベルが破れたりはがれたり、また絵や文字が見えにくくなった場合には、お買い上げの販売店で新しい注意ラベルをお求めいただき、必ず貼り替えてください。



水洗いした衣類以外は乾燥しない

この乾燥機は水洗い衣類専用です。

ドライクリーニング溶剤などで洗ったものやゴム製品などは絶対に乾燥させないでください。火災や有毒ガスが発生するおそれがあります。



ドライ衣類
禁止

使用中は必ず換気をする

給気口および排気筒を設けて十分な換気を行ってください。換気が不十分な場合は、室内への燃焼排ガスの充満や、酸素不足によって生じるガスの不完全燃焼や酸欠事故のおそれがあります。

また、給気口の清掃は定期的に行ってください。



換気実施

警告

前面板・后面板・天板を外したままで運転しない

脱水時に機械の振動が大きくなり、故障の原因となったり、回転部に触れるとけがをするおそれがあります。また、高温部に触れるとやけどをするおそれがあります。



禁 止

濡れた手で操作しない

操作パネルには、濡れた手で触れたり、水をかけたりしないでください。感電や漏電のおそれがあります。



水かけ禁止

引火物を洗濯乾燥機の中に入れない

灯油、ガソリン、ベンジン、アルコールなどをドラムの中に入れて、それらの付着した衣類の洗濯、乾燥をしないでください。爆発や火災のおそれがあります。



禁 止

ドアまわりのすきまに手を入れない

ドアまわりのすきまには手を入れないでください。高温部分や振動部分などへの接触による、やけどや、けがのおそれがあります。



禁 止

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしない

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。詳しくは、「据付工事編」を参照してください。(☞ ページ 37)



強 制

本機を廃棄するときは

本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、ドアを取りはずしてください。



廃 棄 時
ド ア 分 解

子供だけで操作しない

ドアは一旦閉めるとドラム内部から開くことができません。子供だけで操作したり、ドラム内に入って遊んだりすることがないようにしてください。思わぬ不注意で、やけど、感電、けがをするおそれがあります。



禁 止

点検やお手入れは元電源を切ってから行う

点検やお手入れは、必ず元電源を切ってから行ってください。感電や、回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。



電 源 確 認

長期間ご使用にならないときは

電源を切り、ガスの元栓を閉めてください。絶縁劣化による感電や漏電火災、ガス漏れ事故などのおそれがあります。



電源、ガス栓確認

洗濯、乾燥以外の用途に使用しない

本機を衣類など水洗物の洗濯や乾燥以外に使用すると、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



強 制

ドラム内の清掃に可燃物を使用しない

ドラム内の清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。残留成分により、爆発、火災がおこるおそれがあります。



禁 止

化学薬品は使用しない

洗濯や仕上げのために化学薬品を使用したものは乾燥しないでください。爆発や火災のおそれがあります。



禁 止

警告

改造、分解や修理はしない

自分で絶対に改造、分解や修理はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作により爆発、火災がおこるおそれがあります。



分解禁止

バーナー及び加熱室周辺の掃除 (半年ごとの有料点検)

火災事故防止のためバーナー及び加熱室周辺は、定期的に清掃してください。加熱室周辺及び点火プラグにほこりが付着していると、バーナーの炎やスパークでほこりが発火するおそれがあります。掃除は安全のため、お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」に依頼してください。



加熱室点検

ガス漏れの点検（毎日の始業点検）

ガス配管の接続部のゆるみなどによるガス漏れの点検を十分に行ってください。ガス漏れを放置すると、爆発、火災がおこるおそれがあります。万一ガス漏れに気付いたときはすぐに使用を中止して元栓を閉じ、窓や戸を開け換気を行ってください。その間は絶対に火をつけたりスイッチの入・切などは行わないでください。また販売店、ガス業者に連絡してください。



ガス漏れ点検

安全管理をしてください

この商品は、乾燥設備です。1年以内毎に1回、定期自主検査を行い、記録を3年間保存してください。（労働安全衛生法 第45条1項）（労働安全衛生規則 第299条）
HWD-7256Gの都市ガス仕様においては、乾燥設備作業主任技能講習を終了した者のうちから乾燥設備作業主任者を選任してください。（労働安全衛生法第14条）（労働安全衛生規則 第297条）（☞ ページ 33）また乾燥設備作業主任者の選任が必要な製品を設置、もしくは移転する場合には、その計画を当該工事開始日の30日前迄に労働基準監督署長に届け出てください。（労働安全衛生法 第88条）（労働安全衛生法施行規則 第85条）洗濯機から衣類を取り出すときは、回転が停止してから行ってください。（労働安全衛生規則 第139条）



排気筒の点検（毎日の始業点検）

火災事故防止のため接続部分のゆるみ、はずれ、及び排気筒トップの破損などがないか、またそれらにほこりがたまっていないか点検してください。排気筒周辺にたまったほこりを放置すると、排気の熱により発火するおそれがあります。



排気筒点検

注意

防水性の衣類を入れない

防水性のシートや衣類は、洗い、すすぎ、脱水をしないでください。脱水中に異常振動を起こし、機械が破損したり、衣類が損傷するおそれがあります。



禁止

洗濯物を入れ過ぎない

衣類は洗濯乾燥機に表示している入れすぎライン以内で、ドアに衣類が挟まらないように入れてください。洗いやすすぎが悪くなるばかりか、衣類を痛めるおそれがあります。



入れすぎ注意

塩素系漂白剤は直接衣類にかけない

塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。衣類が変色するおそれがあります。



禁止

製品の上に衣類などを置かない

製品の上に衣類や燃えやすい物を置かないでください。火災のおこるおそれがあります。



禁止

⚠注意

給湯に使用する温水は60℃未満にする

給湯に使用する温水は60℃未満にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。



給湯温度注意

製品の後ろ側などに入らない

製品の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。可動部や高温部に触れて、けがや、やけどをするおそれがあります。



禁止

給湯用ストレーナや給湯弁の掃除は、温度が十分下がってから行う

掃除を行うときは必ず元バルブを閉め、温度が十分下がってから行ってください。温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。



やけど注意

指定洗剤以外は使用しない

洗剤、柔軟剤は指定のものを適量でご使用ください。(☞ ページ 20、21) 指定以外の洗剤、柔軟剤を使用すると、泡が立ちすぎたり、ホースの変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。また、ポンプの故障につながるおそれがあります。



禁止

ドラム内に衣類以外の物を入れない

ドラム内にはくつやぬいぐるみなどの衣類以外の物や人、動物を入れて運転しないでください。破損の原因となったり、また人や動物には非常に危険です。



衣類以外は
運転禁止

衣類を確認する

ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。また薄手衣類、顔料プリント衣類および防水性の衣類は乾燥しないでください。火災や発煙のおそれがあります。



衣類確認

やけどに注意する

乾燥中はドラム、ドアなどの本体や衣類が高温になっています。運転中にこれらに触れると、やけどをするおそれがあるため、運転が終わってから衣類を取り出してください。



やけど注意

周囲に可燃物を近づけない

火災事故防止のため本機上部、近辺には可燃物を置かないでください。



禁止

乾燥後は衣類を早く取り出す

乾燥後は衣類を早く取り出して冷ましてください。油污れ(特に動植物油)が残っているもの、またはポリプロピレン繊維の衣類を運転終了後そのまま放置しておく、余熱で自然発火することがあります。



衣類放置注意

冬場、凍結のおそれがあるときは

給水ホース、および洗剤、柔軟剤ホースから水、洗剤、柔軟剤を抜き、水抜きを行い、凍結によるホース破損を防止してください。ホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電がおこるおそれがあります。(☞ ページ 47)



凍結注意

デリケートな衣類は洗濯ネットに入れる

薄い化繊やレースなどのデリケートな衣類や、ホック、飾りなどの付いた衣類を洗うときは、必ず洗濯ネットに入れて洗濯してください。傷付きや、破れのおそれがあります。



デリケート
衣類注意

衣類の取り出しは停止してから

衣類は洗濯乾燥機の回転が完全に停止してから取り出してください。衣類が動いているときは、手などに巻きついてけがをするおそれがあります。



⚠注意

厚手の綿ふとんや大きすぎるふとんは洗濯しない

厚手のふとんは洗濯中に破れるおそれがあるので洗濯しないでください。(キルティング加工したこたつふとんや化繊のふとんは洗濯できます)



禁 止

水(湯)が入ったままで停止したときは、管理者に連絡する

水(湯)が入った状態でドアを開くと洗濯乾燥機内部に水(湯)がかかり、感電や漏電をおこしたり、またやけどをするおそれがあります。ドアを開けずに管理者に連絡をしてください。



強 制

リントフィルターの掃除は温度が十分下がってから行う

乾燥運転後はリントフィルターの温度が高くなっています。温度が高いまま掃除を行うとやけどをするおそれがあります。



やけど注意

運転中は絶対にフィルターフタを開けない

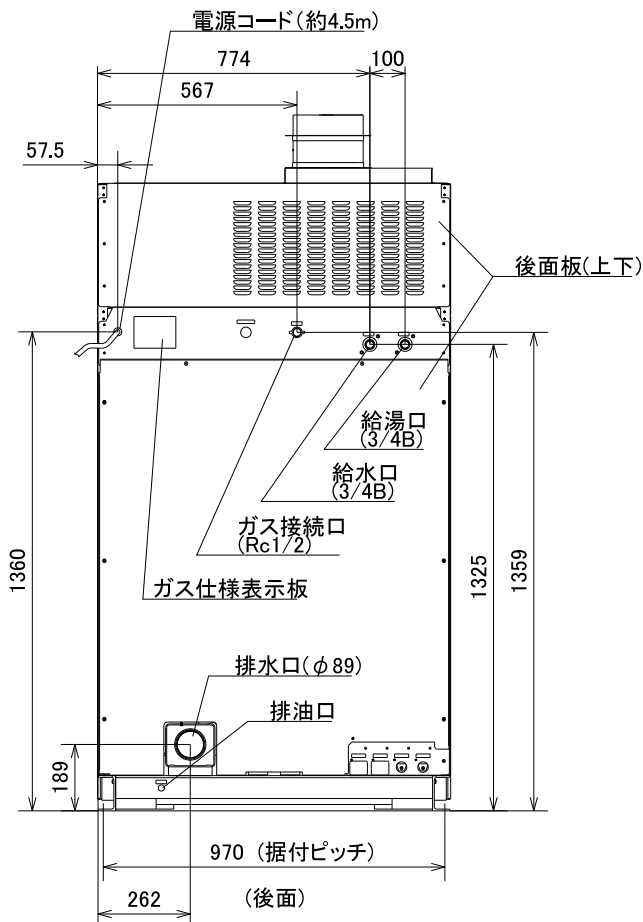
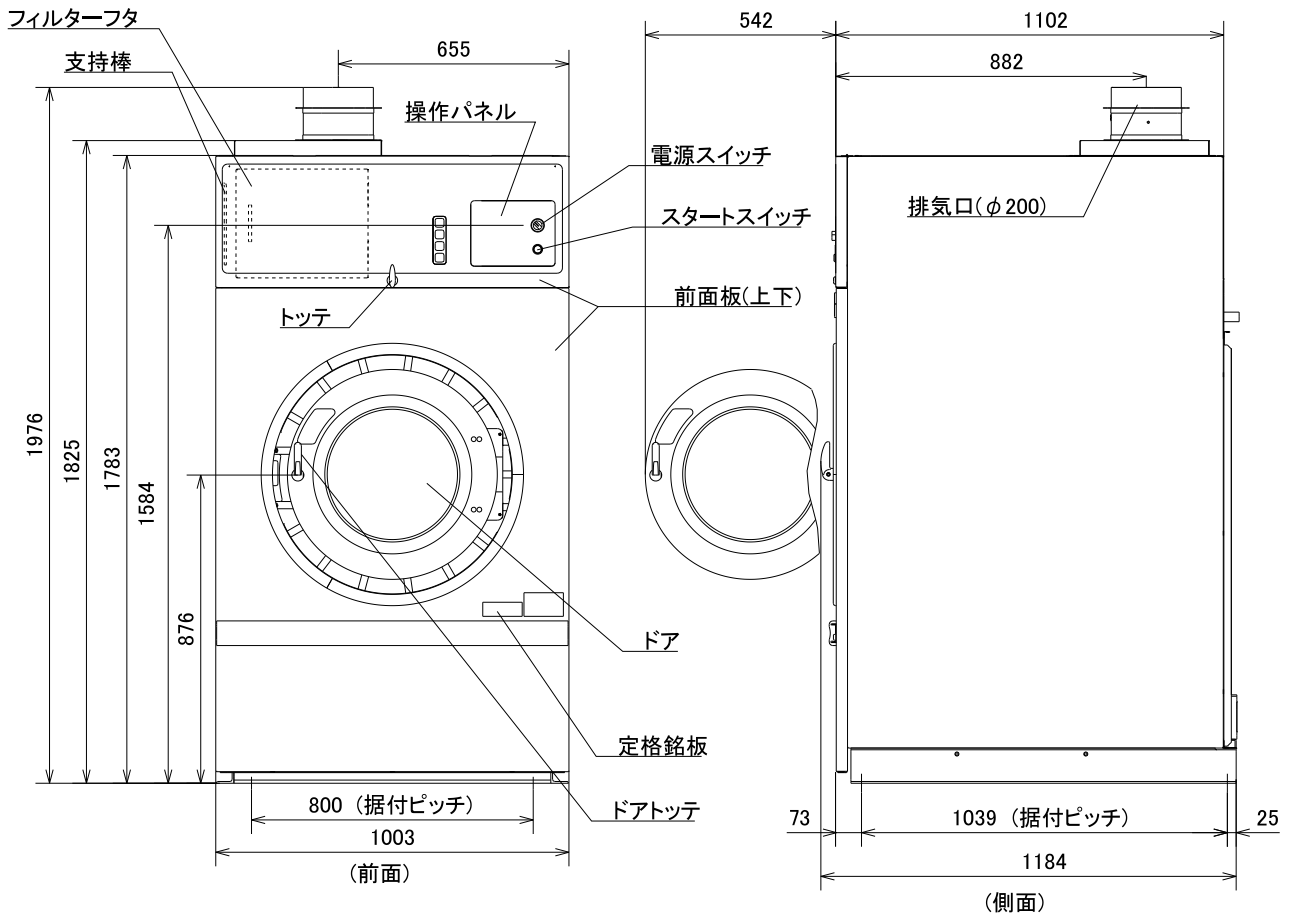
運転中にフィルターフタをあけると、安全装置が動作して正常に運転できなくなります。また、回転部への接触によるけがのおそれがあります。



禁 止

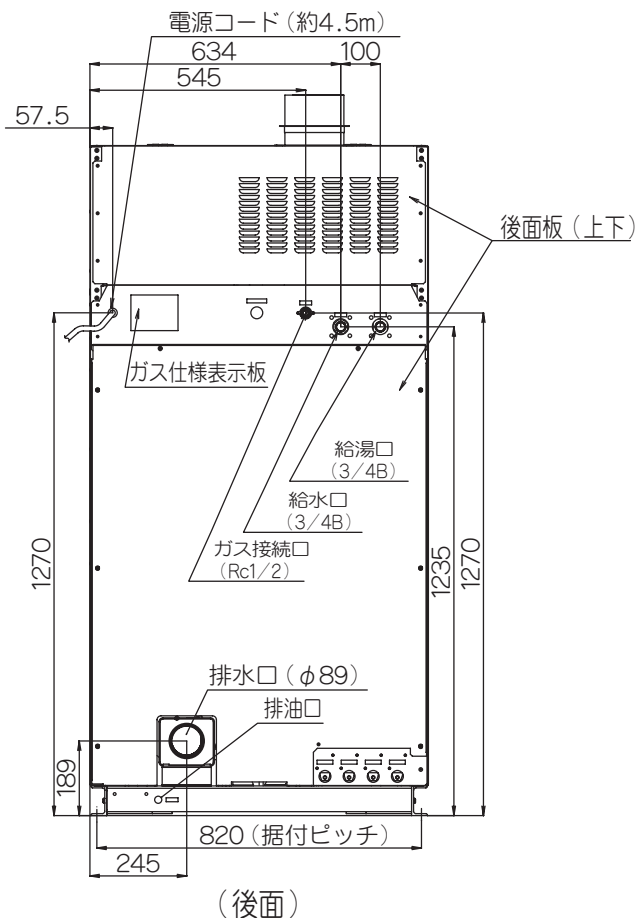
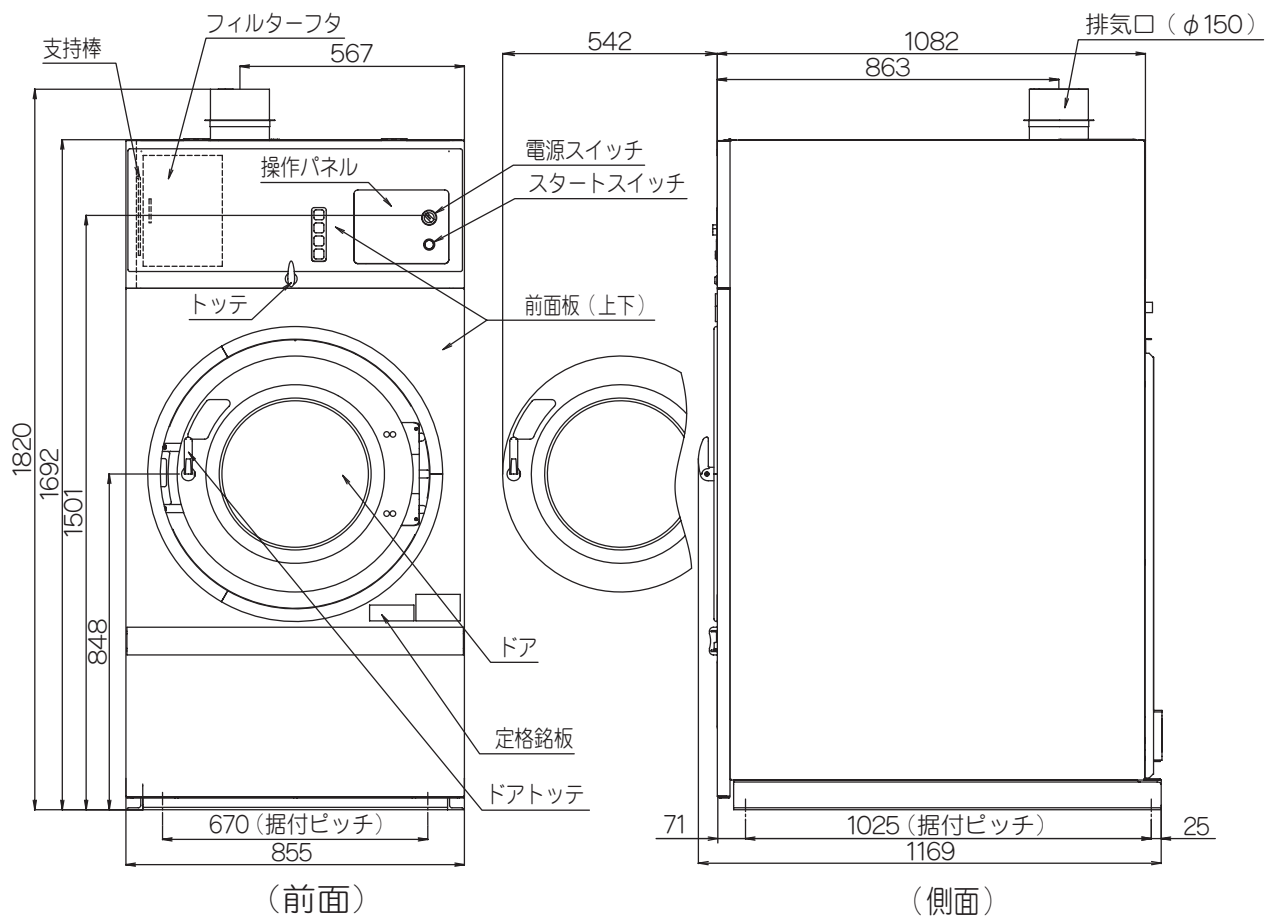
各部の名称と外形寸法

(HWD-7256G)



(単位: mm)

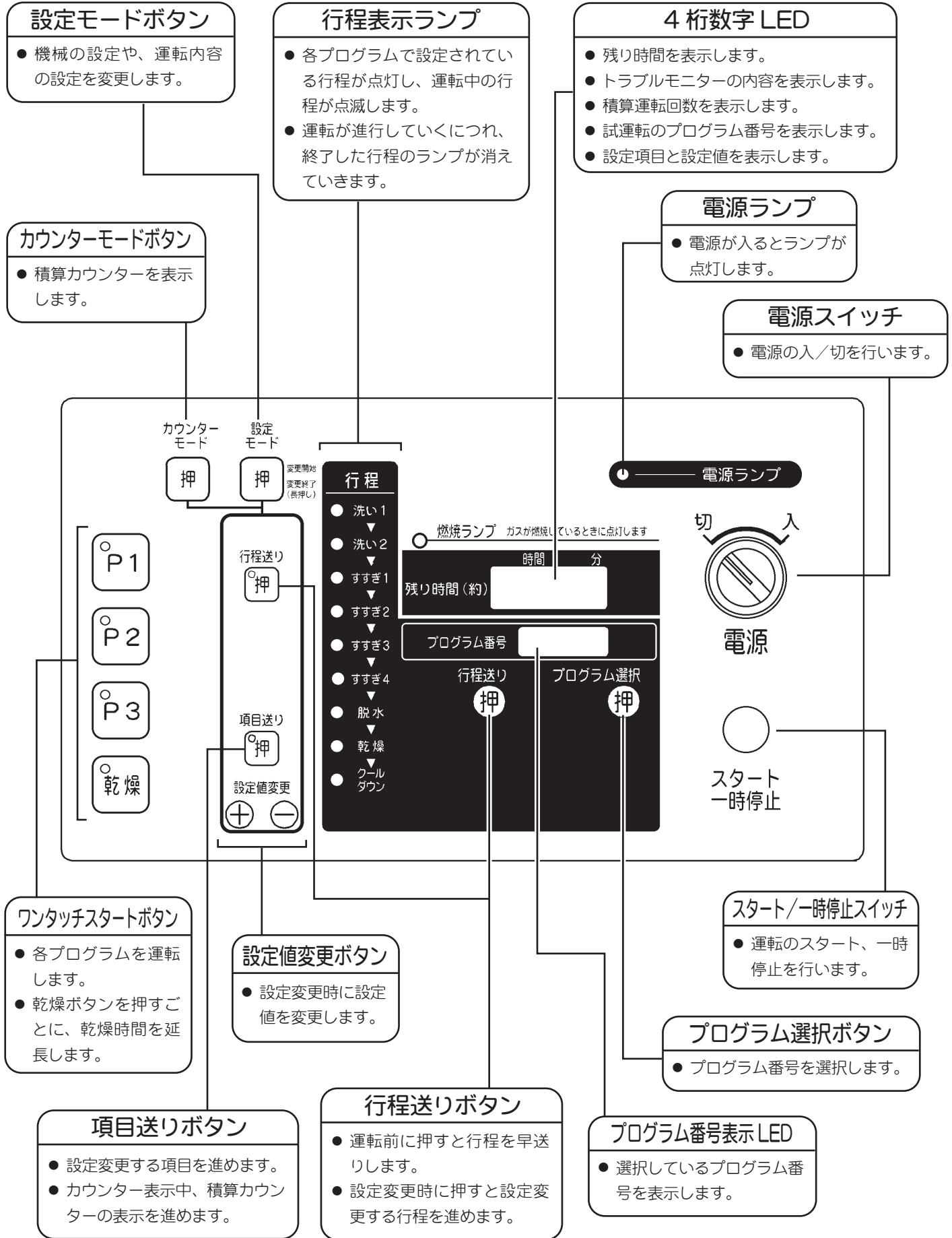
(HWD-7156G)



(単位: mm)

操作部の名称とはたらき

● 前面板（上）を開けると、全てのボタンを操作できます。



試運転モニターの運転方法



- 据え付け時には試運転モニター P59 の運転を必ず行ってください。
- 試運転モニターの運転により各行程の動作確認ができます。保守点検時の各行程の動作確認にご利用ください。

準備

- 洗濯物を入れない。(SPIN (脱水) を除く)

- ①電源元のブレーカーを入れる。
- ②給水、給湯、ガスの元バルブを開く。

例：試運転モニター P59 の運転

1 電源を入にする

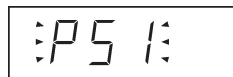


- 電源ランプが点灯します。
- 「start up」を表示します。
- ※表示中ドアは開きません。

2 ドアを閉じて、「プログラム選択ボタン」を 10 秒以上押す



プログラム選択ボタン



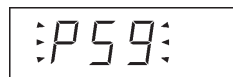
(点滅)

- 「プログラム選択ボタン」を 10 秒以上押し、P51 を 4 桁数字 LED に点滅表示させます。

3 「プログラム選択ボタン」を何回か押す



プログラム選択ボタン



(点滅)

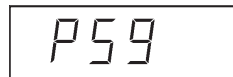
- 「プログラム選択ボタン」を何回か押して、P51～P63、SPIN (脱水) の希望の試運転プログラム番号を点滅表示させます。

- プログラム番号は、「プログラム選択ボタン」を押すごとに P51 点滅→点灯 --- P58 点滅→点灯 --- SPIN 点滅→点灯 に切り替わります。

4 「プログラム選択ボタン」を押す



プログラム選択ボタン



(点灯)

- プログラム番号が点滅から点灯にかわり、ドアが閉じていれば、試運転プログラムを開始します。
- 運転が終了すると、次のプログラム番号を点滅表示します。再度「プログラム選択ボタン」を押すと点滅表示中の試運転プログラムを開始します。ただし、SPIN (脱水) の運転を終了したときは、次のプログラム番号を表示せず、試運転モニターを終了します。

- 運転途中で「プログラム選択ボタン」を押すと、そのプログラムを終了し、次のプログラム番号を点滅表示します。

5 試運転モニターの終了

- プログラム番号 SPIN (脱水) の運転を終了したとき。
- プログラム番号点滅中に「プログラム選択ボタン」を 10 秒以上押し続けたとき。
- プログラム番号点滅中に 5 分以上「プログラム選択ボタン」を押さないとき。

試運転モニターについて

- 据え付け時の試運転、保守点検時に各行程の動作を単独または、連続で確認することができます。
(プログラム P59 は連続動作、その他のプログラムは単独動作)
- 試運転モニターの運転は、試運転モニターの運転方法 (☞ ページ 9) の手順に従ってください。
- 洗濯物は入れないでください。(SPIN (脱水) を除く)

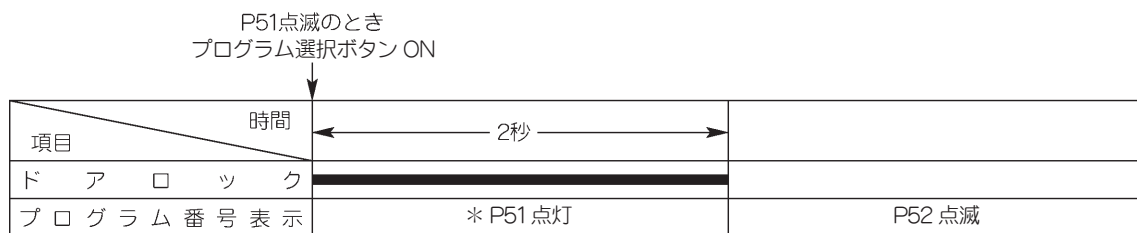
1 試運転プログラム

試運転の行程	表示	点検できる項目
①ドアロック	P51	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアのロックと解除の動作 ● ドアロックソレノイドの動作 ● ドアスイッチ、ドアロックスイッチの動作
②洗剤、柔軟剤、助剤ポンプ	P52	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤、柔軟剤ポンプの投入時間と動作 ● 助剤ポンプの投入時間と動作
③給水、給湯バルブ	P53	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水、給湯バルブの動作 ● 水位センサーの動作 ● モーターの動作
④排水バルブ	P54	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水バルブの動作
⑤脱水	P55	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水バルブの動作 ● 水位センサーの動作 ● モーターの動作 ● 振動スイッチの動作
⑥着火性能	P56	<ul style="list-style-type: none"> ● ガスバルブ、点火器の動作 ● 入口、出口サーミスタの動作
⑦モニター全行程	P59	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記 P51 ~ P56 の連続動作
⑧洗剤ポンプ	P60	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤ホースのエア抜き
⑨柔軟剤ポンプ	P61	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟剤ホースのエア抜き
⑩助剤ポンプ 1*	P62	<ul style="list-style-type: none"> ● 助剤 1 ホースのエア抜き
⑪助剤ポンプ 2*	P63	<ul style="list-style-type: none"> ● 助剤 2 ホースのエア抜き
⑫ SPIN (脱水)	SPIN	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯物による脱水運転動作

* 助剤 1、助剤 2 ポンプはオプション部品を取り付けたときに動作します。

2 各行程の動作

①ドアロック [表示 : P51 点灯 → P52 点滅]



* ドアロックできない場合は、ドアロック不良 “H00” を表示。

②洗剤、柔軟剤、助剤ポンプ [表示：P52 点灯→ P53 点滅]

P52 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 34 秒 →							
	1秒	1秒	3秒	3秒	3秒	3秒	5秒	15秒
ドアロック	■							
給水バルブ	■							
洗剤ポンプ	■							
柔軟剤ポンプ	■							
助剤1ポンプ*	■							
助剤2ポンプ*	■							
ドラム右回転	■						■	
排水バルブ	閉							開
プログラム番号表示	P52 点灯							P53 点滅

*助剤1、助剤2ポンプはオプション部品です。設置していない場合は動作しません。

③給水、給湯バルブ [表示：P53 点灯→ P54 点滅]

P53 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 給水時間 + 50 秒 →					
						30秒
ドアロック	■					
給湯バルブ	■		■			
給水バルブ	■		■			
ドラム左回転	■	■	■	■	■	
ドラム右回転	■	■	■	■	■	
水位*	1度	3度	5度	7度	9度	9度
排水バルブ	閉					
プログラム番号表示	P53 点灯					P54 点滅

*各水位到達ごとにブザーが鳴りドラムと給水バルブ・給湯バルブが5秒間停止します。

④排水バルブ [表示：P54 点灯→ P55 点滅]

P54 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 排水時間 →	
		5秒
ドアロック	■	
ドラム右回転	■	
水位*	9度～1度以下	
排水バルブ	開	■
プログラム番号表示	P54 点灯	
	P55 点滅	

* P53 終了時は水位9度。他のプログラム終了後に運転するときは、水位が異なります。

⑤脱水 [表示：P55 点灯→ P56 点滅]

P55 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	
	約 3 分	約 8 分
ドア ロ ッ ク	約 3 分	
給 水 バ ル ブ	開	
ド ラ ム 右 回 転	約 5 分	
脱 水 行 程	バランス制御	脱水
プログラム番号表示	P55 点灯	
	P56 点滅	

⑥着火性能 [表示：P56 点灯→ P59 点滅]

P56 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間			
	約2秒	約10秒	6分	約10分
ド ア ロ ッ ク	約 2 秒			
点 火 器	約 10 秒			
ガ ス バ ル ブ	6 分			
フ ァ ン モ ー タ ー	約 10 分			
ド ラ ム 左 回 転	約 3 分			
ド ラ ム 右 回 転	約 3 分			
排 水 バ ル ブ	閉			
プログラム番号表示	P56 点灯			
	P59 点滅			

⑦モニター全行程 [表示：P59 点滅のときプログラム選択ボタン ON → P59 点灯→ P51 ~ P56 を運転→ P60 点滅]

- 試運転プログラムの P51 ~ P56 の動作を自動的に連続して行います。

⑧洗剤ポンプ [表示：P60 点灯→ P61 点滅]

P60 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間			
	2 秒	1 分	5 秒	排水時間 + 1 分 7 秒
ド ア ロ ッ ク	2 秒			
給 水 バ ル ブ	1 分			
洗 剤 ポ ン プ	5 秒			
ド ラ ム 右 回 転	排水			
排 水 バ ル ブ	開	閉	開	閉
プログラム番号表示	P60 点灯			
	P61 点滅			

⑨柔軟剤ポンプ [表示：P61 点灯→ P62 点滅]

P61 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 排水時間 +1分7秒 →			
	2秒	1分	5秒	排水
ドアロック	■			
給水バルブ		■		
柔軟剤ポンプ		■		
ドラム右回転	■			
排水バルブ	■ 開 ■	閉		■ 開 ■
プログラム番号表示	P61 点灯			P62 点滅

⑩助剤1ポンプ [表示：P62 点灯→ P63 点滅]

P62 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 排水時間 +1分7秒 →			
	2秒	1分	5秒	排水
ドアロック	■			
給水バルブ		■		
助剤1ポンプ		■		
ドラム右回転	■			
排水バルブ	■ 開 ■	閉		■ 開 ■
プログラム番号表示	P62 点灯			P63 点滅

⑪助剤2ポンプ [表示：P63 点灯→ SPIN 点滅]

P63 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 排水時間 +1分7秒 →			
	2秒	1分	5秒	排水
ドアロック	■			
給水バルブ		■		
助剤2ポンプ		■		
ドラム右回転	■			
排水バルブ	■ 開 ■	閉		■ 開 ■
プログラム番号表示	P63 点灯			SPIN 点滅

⑫ SPIN (脱水) [表示：SPIN 点灯→試運転モニター終了]

SPIN 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間 ← 約8分 →	
	約3分	5分
ドアロック	■	
排水バルブ	■ 開 ■	
ドラム右回転	■	
脱水行程	バランス制御	脱水
プログラム番号表示	SPIN 点灯	

- SPIN (脱水) のプログラム終了後、試運転モニターを終了します。

運転のしかた

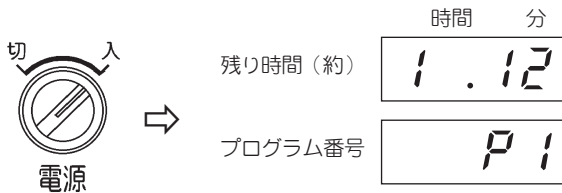


- 「P1」「P2」「P3」「乾燥」はワンタッチスタートボタンを押すと運転を開始します。(ワンタッチスタートボタンで運転する場合は行程送りができません。)
- プログラム選択ボタンで運転したいプログラム番号を呼び出し、スタートボタンを押すと運転を開始します。
- 乾燥ボタンを押すごとに、各プログラムの乾燥時間を延長します。
- 運転は8つのプログラムから選択できます
- 洗剤、柔軟剤などの助剤は自動投入します。

準備

- ①電源元のブレーカーを入れる。
- ②給水、給湯の元バルブを開く。
- ③洗剤、柔軟剤をセットする。(☞ ページ 17)

1 電源を入にする

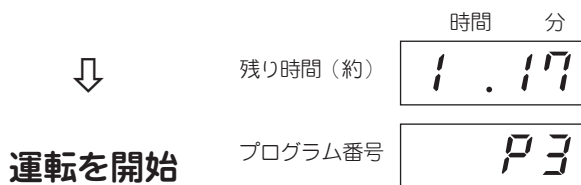


- 電源ランプが点灯します。
 - 「start up」を表示します。
 - ※表示中ドアは開きません。
 - 前回運転したプログラム番号とその運転時間を表示します。
- <例：前回 P1 運転で運転時間が 72 分の場合>

2 洗濯物を入れ、ドアを閉める

A：ワンタッチスタートボタンで P3 を運転する場合

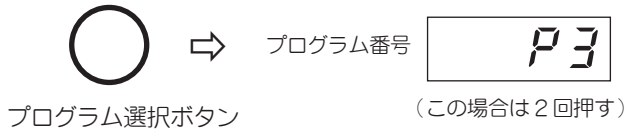
3 ワンタッチスタートボタンの「P3」を押す



- 選択したプログラム番号とその運転時間を表示します。
- 運転時間は目安時間です。実際の運転時間は給水圧および洗濯物により、本体の表示時間とは異なる場合があります。
- 「door」と表示されているときはドアが完全に閉まっていません。確実に閉めてください。

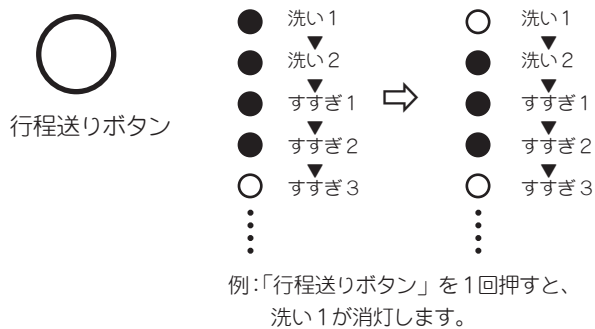
B：プログラム選択ボタンで P3 を呼び出して行程を送り、運転する場合

3-1 「プログラム選択ボタン」を何回か押す



- P1 から乾燥 (dry) までの希望するプログラム番号を表示するまで「プログラム選択ボタン」を何回か押します。
- プログラム番号は、「プログラム選択ボタン」を押すごとに、
→ P1 → P2 → P3-----dry に切り替わります。

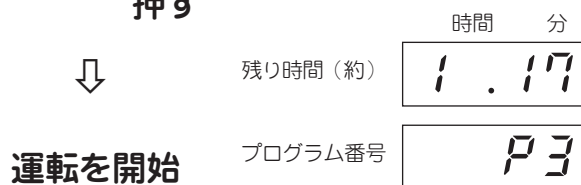
3-2 「行程送りボタン」を押し、運転する行程を選ぶ



設定されているプログラムで運転する場合は行程送りボタンを押す必要はありません。

- 「行程送りボタン」を押すごとに、点灯しているランプが上から順に消えていきます。ランプの消えた行程は運転せず、ランプの点灯している行程を運転します。
- 「行程送りボタン」を押していき、最後の行程に達した場合、もう一度押すと全行程表示に戻ります。

3-3 スタート / 一時停止スイッチを押す



- 選択したプログラム番号とその運転時間を表示します。
- 運転時間は目安時間です。実際の運転時間は給水圧および洗濯物により、本体の表示時間とは異なる場合があります。
- 「door」と表示されているときはドアが完全に閉まっていません。確実に閉めてください。

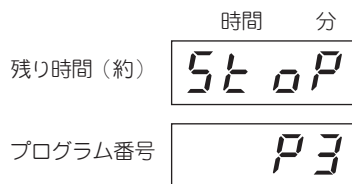
4 運転中の操作 (乾燥時間を延長する場合)

ワンタッチスタートボタンの「乾燥」を押す

- 「乾燥」を押すごとに、乾燥時間を延長できます。
- 乾燥時間の設定は、「各種設定のしかた」を参照ください。(☞ ページ 20 ~ 24)

(運転中に一時停止する場合)

スタート / 一時停止スイッチを押す

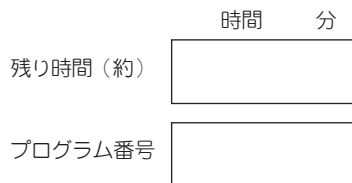


- 運転中にスタート / 一時停止スイッチを押すと、運転を一時停止します。再度押すと運転を再開します。
- 運転中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉めてスタート / 一時停止スイッチを押すと運転を再開します。

*水位が2度以上の場合ドアは開きません。

(運転を中止する場合)

電源を切にする



- 運転中に電源スイッチを切にすると運転を中止し、プログラムをキャンセルします。

(乾燥中に運転を中止する場合)

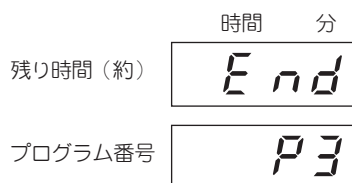
○ 乾燥

乾燥運転中に限り、ワンタッチスタートの「乾燥」を2秒以上押すとcdを表示し、冷風運転(クールダウン)を行い衣類をさまして、運転を終了します。

△注意

乾燥運転中に運転を中止する場合は、中止後に衣類を早く取り出して冷ましてください。そのまま放置しておくと、余熱で自然発火することがあります。

5 運転が終了すれば、洗濯物を取り出す



- 運転が終了するとブザーが鳴り、「End」を表示します。ドアを開け、洗濯物を取り出してください。

衣類の重さの目安

ワイシャツ	約 200g	パジャマ (上・下)	約 500g
子供ズボン	約 200g	半袖肌着	約 110g
シーツ (シングル)	約 500g	長袖肌着	約 130g
タオルケット (薄 手)	約 400g	作業服 (上・下)	約 800g
タオルケット (厚 手)	約 1200g	バスタオル	約 300g

〔最大容量〕

< 7256G >	< 7156G >
洗濯と乾燥・・・15kg	8kg
洗濯のみ・・・25kg	15kg
乾燥のみ・・・15kg	8kg

日本電機工業会規格に準ずる。

△注意

必ず最大容量以下で運転してください。洗濯物が多すぎると洗浄性が悪くなるばかりでなく、衣類損傷事故につながります。また、ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨などを取り出してください。衣類の傷付きや、破れのおそれがあります。

運転についての確認

1 ソフトリンクルについて

本機には運転終了後、定期的に短時間の冷風運転を行い、自然発火の原因となる衣類の蓄熱を防止するソフトリンクル機能が付いています。

- ソフトリンクルは、運転終了後、衣類が放置された状態のとき、5分ごとに10秒間の冷風運転（ドラム一方回転）で衣類を冷まします。ソフトリンクルの有効時間は運転終了後最長2時間までです。
- ソフトリンクルは、ドアを開けるか、電源をOFFにすると終了します。
- ソフトリンクル中を示す表示はありません。
- ソフトリンクルは、安全を保つための機能ですので「無」の設定はできません。

△注意

- 乾燥後は衣類を早く取り出して冷ましてください。油汚れ（特に動植物油）が残っているものまたはポリプロピレン繊維の衣類を運転終了後そのまま放置しておく、余熱で自然発火するおそれがあります。

2 クールダウン表示について

本機は、乾燥運転終了後数分間、冷風運転（クールダウン）を行い、衣類をさまします。

4桁数字LEDにはクールダウンを示す「cd」を表示し、行程表示ランプのクールダウンが点滅します。

cd

3 燃焼ランプについて

- 乾燥を開始するとドラムとファンが回転し、約10秒間排気運転をしたあと、バーナーに自動点火します。バーナーに着火すれば燃焼ランプが点灯します。

○ 燃焼ランプ

燃焼ランプ（バーナーに着火すれば点灯）

- 据付当初やガスボンベの交換直後は、ガス配管内に空気が残っているため、1回の点火動作（スパーク）では着火しない場合があります。
- スパークを数回繰り返してもバーナーに着火しないときは、トラブルモニターH04が働き、自動的に運転を停止します。

（トラブルモニター ㊦ ページ29）

△警告

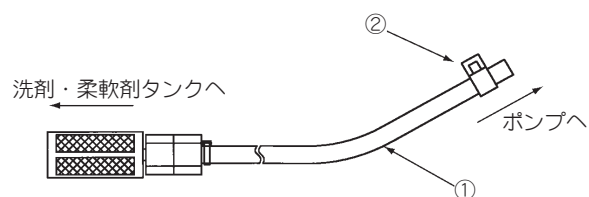
長時間ご使用にならないときは電源を切り、ガスの元栓を閉めてください。絶縁劣化による感電や漏電火災、ガス漏れ事故などのおそれがあります。

洗剤、柔軟剤のセット方法

- イラストに従い、給液ホースをセットしてください。洗剤、柔軟剤は当社指定の製品をご使用ください。
- はじめてセットされた後、または洗剤、柔軟剤のタンク交換後に洗剤、柔軟剤が正しく注入されるよう、必ず試運転モニターP60、P61（㊦ ページ10）を何回か行い、ホース内のエア抜きを行ってください。
- フィルターは必ずセットしてください。ごみの詰まりによるポンプの故障を防止します。
- 投入時間は21ページの表4、5を参考に設定してください。

給液ホース2組（付属品）

- ① ビニールホース（フィルター付き）
- ② ホースバンド（金属）



当社指定の洗剤・柔軟剤

洗剤	柔軟剤
テクノウォッシュ	テクノソフター
ケアウォッシュ	ケアソフター
抗菌プラス洗剤	抗菌プラスソフター

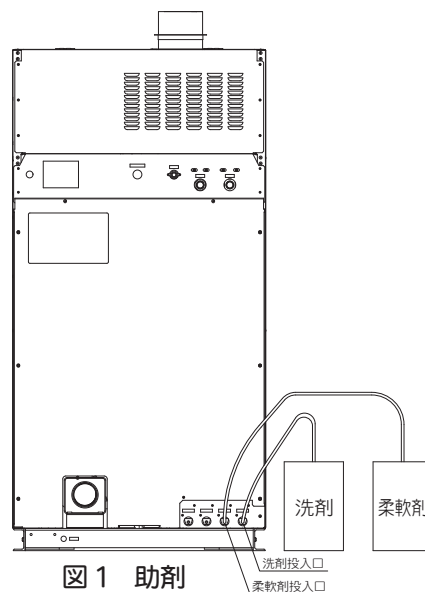


図1 助剤

プログラムの内容

1 工場出荷時のプログラム

- 工場出荷時には、あらかじめ表 1 の 8 種類の運転プログラムを設定しています。
- 運転時間は目安時間です。実際の給水時間はページ 47 の図を参照ください。
- 各プログラムの設定内容を変更する場合はページ 20 ~ 24 の「各種設定のしかた」を参照ください。

表 1 工場出荷時のプログラム内容

コース	洗濯物	特長	行程	設定値									
				時間 (分)	冷水位 (度)	温水位 (度)	助剤	助剤投入時間 (秒)	ドラム 回転	脱水 時間 (分)	脱水 回転 (rpm)	乾燥 温度 (°C)	乾燥中の ドアロック
P1	一般衣類 (標準)	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯 標準時間コース 合計72分	洗い1	6	4	4	洗剤	7256G:5 7156G:3	強	2	600		
			洗い2										
			すすぎ1	1	4	4			強	1	600		
			すすぎ2										
			すすぎ3	1	3	3	柔軟剤	7256G:4 7156G:2	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥	45							70	OFF※注1	
P2	一般衣類 (少量) ※注2	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯 短縮時間コース 合計50分	洗い1	4	4	4	洗剤	7256G:5 7156G:3	強	2	600		
			洗い2										
			すすぎ1	1	4	4			強	1	600		
			すすぎ2										
			すすぎ3	1	3	3	柔軟剤	7256G:4 7156G:2	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥	25							70	OFF※注1	
P3	一般衣類 (念入り)	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯 予洗付きコース 合計77分	洗い1	3	4				強	1	600		
			洗い2	5	4	4	洗剤	7256G:5 7156G:3	強	2	600		
			すすぎ1	1	5	5			強	1	600		
			すすぎ2										
			すすぎ3	1	3	3	柔軟剤	7256G:4 7156G:2	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥	45							70	OFF※注1	
P4	タオル	タオル 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯 標準時間コース 7256G:合計95分 7156G:合計70分	洗い1	4	4	4	洗剤	7256G:5 7156G:3	強	2	600		
			洗い2										
			すすぎ1	1	5	5			強	1	600		
			すすぎ2										
			すすぎ3	1	3	3	柔軟剤	7256G:4 7156G:2	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥	7256G:70 7156G:45							80	OFF※注1	
P5	毛布	毛布 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯 標準時間コース 合計57分	洗い1	7	4	4	洗剤	7256G:5 7156G:3	強	2	600		
			洗い2										
			すすぎ1	1	5	5			強	1	600		
			すすぎ2	1	5	5			強	1	600		
			すすぎ3	1	3	3	柔軟剤	7256G:4 7156G:2	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥	25							70	OFF※注1	
P6	洗濯のみ	洗濯のみ 洗い:水+湯 すすぎ:水+湯/水 合計30分	洗い1	5	5	5	洗剤	7256G:6 7156G:4	強	3	600		
			洗い2										
			すすぎ1	3	6	6			強	1	600		
			すすぎ2										
			すすぎ3	2	4		柔軟剤	7256G:5 7156G:3	強				
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥									OFF※注1	
P7	脱水	脱水のみ 合計11分	洗い1										
			洗い2										
			すすぎ1										
			すすぎ2										
			すすぎ3										
			すすぎ4										
			脱水						8	7256G:800 7156G:850			
			乾燥									OFF※注1	
dry	乾燥	乾燥/追加乾燥	乾燥					10分/1回			70	OFF	

- 水位度数はドラム（洗濯槽）に給水したとき、ドラム後面板の中心を 10 度として 10 段階で表現しています。（図 2 参照）
- 給水、給湯時間は、給水圧と設定水位により異なります。
- 脱水のとき、ドラム内で洗濯物の片寄りが大きい場合は、バランス時間が長くなることがあります。
- 各プログラムの運転時間は、洗い、すすぎ、乾燥の各行程の時間、中間脱水、最終脱水の時間、給水時間（各行程 1 分）、バランス時間（中間脱水前:1 分、最終脱水前:3 分）の合計になります。給水時間、バランス時間は変更できません。

注 1 P1～P7 の乾燥中のドアロックの設定は、dry の設定が反映されます。

注 2 P2 の一般衣類（少量）の容量は 7256G:7kg、7156G:4kg が目安です。

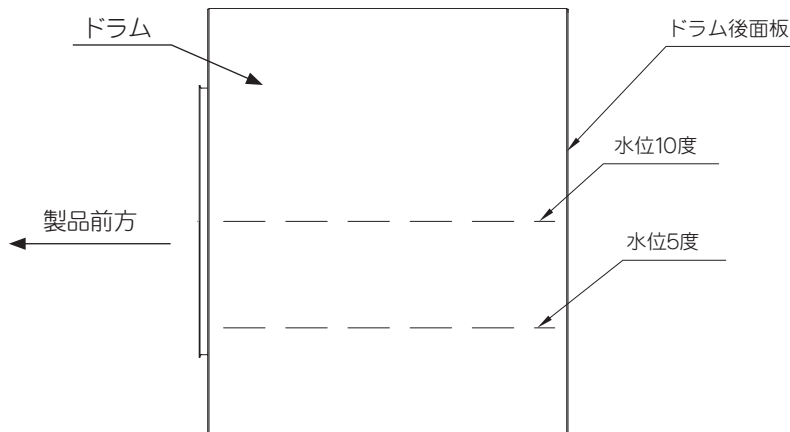


図 2 水位

各種設定のしかた

1 各種設定の内容

● 設定項目および設定内容は表2のとおりです。

表2. 各種設定の内容（工場出荷時の内容は ㊦ ページ 18）

設定項目 （表示）	設定内容	説明
行程時間 （Fun）	洗い：0～30分 すすぎ：0～30分 乾燥：0～120分 （1分単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗い、すすぎ、乾燥の各行程時間を設定できます。 ・ 給水、給湯、排水、バランス時間は含みません。
冷水位 （Cold）	0～10度 （1度単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷水、温水の水位を設定できます。 ・ 冷水、温水の水位を同じ水位に設定した場合は、冷水と温水が同時に入ります。（ミキシング） ・ 冷水、温水の水位設定が異なる場合、低い水位設定側を優先し、その後高い水位設定側に切り替わります。 （例）冷水位：3度、温水位：5度 冷水だけを3度まで給水し、その後温水だけを5度まで給湯します。 （同時に入ることはありません） ・ 洗浄性を保つため冷水、温水のどちらかの水位が3度以上となります。
温水位 （Hot）	0～10度 （1度単位）	
洗剤投入時間 （SOAP）	0～60秒 （1秒単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗剤の投入時間を設定できます。 ・ 工場出荷時の設定値は当社指定の洗剤（テクノウォッシュ、ケアウォッシュ、抗菌プラス洗剤）で最適な時間です。 ・ 洗剤投入の動作確認は、試運転モニター（㊦ ページ 10）のプログラム P52で行うことができます。
柔軟剤投入時間 （SOFT）	0～60秒 （1秒単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟剤の投入時間を設定できます。 ・ 工場出荷時の設定値は当社指定の柔軟剤（テクノソフト、ケアソフト、抗菌プラスソフト）で最適な時間です。 ・ 柔軟剤投入の動作確認は、試運転モニター（㊦ ページ 10）のプログラム P52で行うことができます。
助剤1投入時間 （Opt1）	0～60秒 （1秒単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合、助剤1の投入時間を設定できます。 ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合のみ設定してください。 ・ 助剤1投入の動作確認は、試運転モニター（㊦ ページ 10）のプログラム P52で行うことができます。
助剤2投入時間 （Opt2）	0～60秒 （1秒単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合、助剤2の投入時間を設定できます。 ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合のみ設定してください。 ・ 助剤2投入の動作確認は、試運転モニター（㊦ ページ 10）のプログラム P52で行うことができます。
ドラム回転強さ の切替	8on ⇔ 2oFF（強） 2on ⇔ 8oFF（弱） （交互に点灯）から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗いまたはすすぎの反転周期を、 強：8秒回転、2秒停止 弱：2秒回転、8秒停止 のどちらかに切り替えることができます。
脱水時間 （SP-t）	0～10分 （1分単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水時間を設定できます。 ・ 回転数上昇中の時間を含みます。
脱水回転数の切替 （SPin）	中間脱水：400,500,600rpm 最終脱水： （7256G）600,720,800rpm （7156G）600,720,850rpm から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗い、すすぎ行程の中間脱水と、脱水行程の脱水のドラム回転数を設定できます。
乾燥温度 （ondo）	50・60・70・80℃ （10℃単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥温度を設定できます。
乾燥ボタンごとの 乾燥時間（dFun）	1～30分 （1分単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中に追加乾燥する場合の乾燥ボタンを一回押すごとに追加する乾燥時間を設定できます。 ・ ワンタッチスタートの乾燥ボタンを一回押すごとに追加する乾燥時間を設定できます。
乾燥中のドアロック の有無（LOC）	on（ロックする） oFF（ロックしない） から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥運転のドアロックの有無を切り替えます。

- 各プログラムの行程で設定内容が変更できる項目を表3の「○」で示します。

表3. 各プログラムの設定項目

プログラム番号	行程	行程時間 (Fun) 注1	冷水位 (Cold)	温水位 (Hot)	洗剤投入時間 (SOAP)	柔軟剤投入時間 (SOft)	助剤1投入時間 (OPt1)	助剤2投入時間 (OPt2)	ドラム回転強さの切替	脱水時間 (SP-t)	脱水回転数の切替 (SPin)	乾燥温度 (ondo)	乾燥ボタンごとの乾燥時間 (dFun)	乾燥中のドアロックの有無 (LOC)
P1 P7	洗い1	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	洗い2	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	すすぎ1	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	すすぎ2	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	すすぎ3	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	すすぎ4	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注2	○	-	-	-
	脱水	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
乾燥	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
dry	乾燥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○ 注3

注1 行程時間が0分の行程は飛びこえて、次の行程に進みます。

(行程時間が0分の場合、各項目が設定されていても動作しません。)

注2 脱水行程の一つ前の行程の脱水時間 (SP-t) の設定は0分としてください。

(時間設定を行うと、脱水を連続して2回行うため、運転時間が長くなります。)

注3 乾燥中のドアロックの有無 (LOC) の設定はP1～P7の乾燥行程のドアロック設定に反映されます。

- 工場出荷時の洗剤、柔軟剤の投入時間は、当社指定のテクノウォッシュ、ケアウォッシュ、抗菌プラス洗剤、テクノソフター、ケアソフター、抗菌プラスソフターで最適な時間に設定しています。
- 各行程の水位設定を変更する場合は表4、5を参考に投入時間を設定してください。

ご注意	洗剤の投入量が多すぎると、洗濯液が開口部から吐出し、感電や漏電がおこるおそれがあります。
------------	--

表4. 洗剤、柔軟剤の標準使用量

		標準使用量	ポンプ投入量
洗剤	テクノウォッシュ ケアウォッシュ 抗菌プラス洗剤	水量の0.1%	約18 ml / 秒
柔軟剤	テクノソフター ケアソフター 抗菌プラスソフター	水量の0.1%	約20 ml / 秒

表5. 洗剤、柔軟剤の投入時間の目安 (水量の0.1%)

機 種		HWD-7256G								HWD-7156G							
		3	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	10
水位 (度)		3	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	10
水量 (L)		83	95	110	131	145	156	172	190	48	60	68	77	87	93	105	113
投入時間 (秒)	テクノウォッシュ																
	ケアウォッシュ	5	5	6	7	8	9	10	11	3	3	4	4	5	5	6	6
	抗菌プラス洗剤																
	テクノソフター																
	ケアソフター	4	5	6	7	7	8	9	10	2	3	3	4	4	5	5	6
	抗菌プラスソフター																

2 設定方法



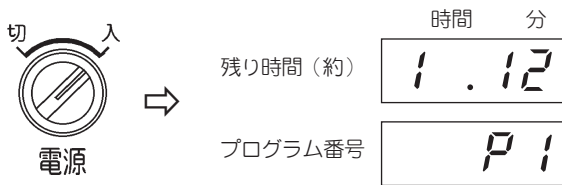
- 設定は操作パネルの設定モードボタンで行います。
(設定モードボタンについてはページ 8 を参照ください。)
- 設定は停止中(待機中)のみ行えます。
- 設定後は必ず設定モードボタンを 2 秒以上押して設定を終了してください。

準備

- 電源元のブレーカーを「入」にする。

<設定の手順>

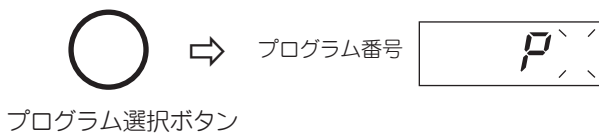
1. 電源を入にする。



- 電源ランプが点灯します。
- 「start up」を表示します。
※表示中ドアは開きません。
- 前回運転したプログラム番号とその運転時間を表示します。
<例：前回 P1 運転で運転時間が 72 分の場合>

2. 待機状態で前面板(上)を開き、左の支持棒で固定します。

3. プログラム選択ボタンを押して、設定内容を変更するプログラム番号を表示させます。

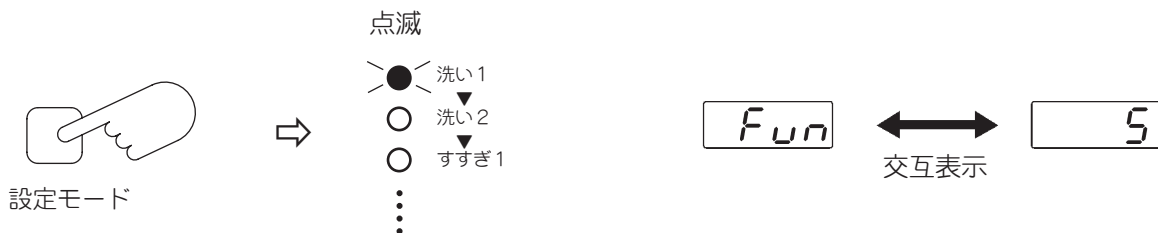


- プログラム番号は、プログラム選択ボタンを押すごとに

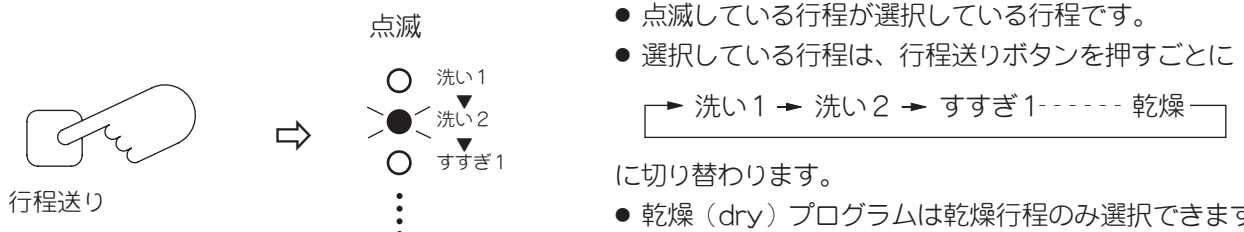
→ P1 → P2 → P3 ----- dry

 に切り替わります。

4. 設定モードボタンを 2 秒以上押すと、短いブザーが鳴り、行程表示ランプの洗い1が点滅し、4桁数字 LED に行程時間を表す「Fun」(分)と設定値を交互に表示します。



5. 行程送りボタンを押すごとに、行程表示ランプが順次点滅し、行程を選択することができます。



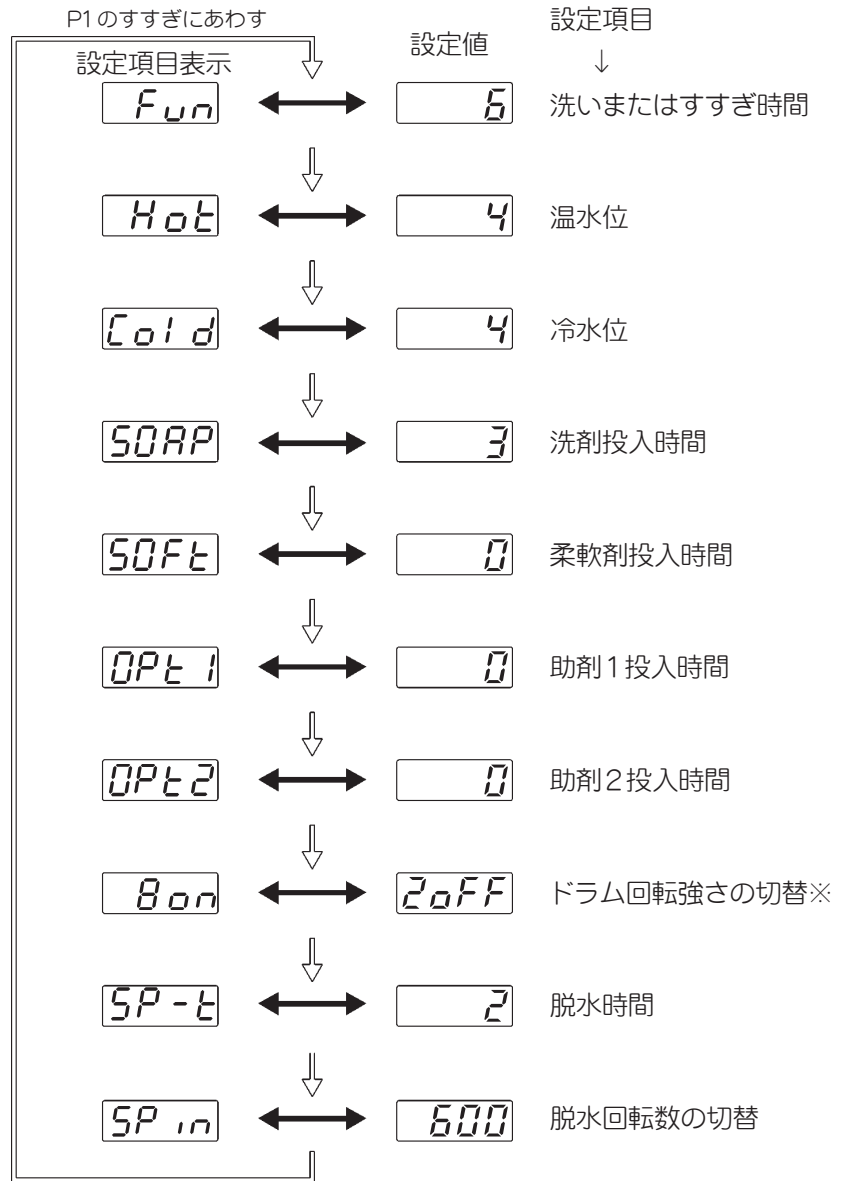
- 点滅している行程が選択している行程です。
- 選択している行程は、行程送りボタンを押すごとに

→ 洗い1 → 洗い2 → すすぎ1 ----- 乾燥

 に切り替わります。
- 乾燥(dry)プログラムは乾燥行程のみ選択できます。

6. 行程の選択後、項目送りボタンを押すごとに4桁数字LEDの表示が変わり、設定項目を選択することができます。
 (各プログラムの行程によって選択できる項目は異なります。詳しくはページ21の表3を参照ください。)

(例：P1～P7プログラムの洗い、すすぎ行程)

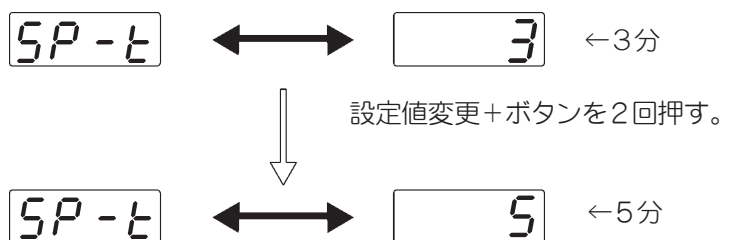
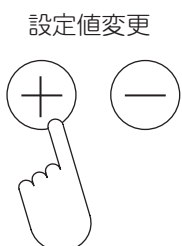


※ドラム回転強さの切替については、設定項目表示はせず、設定値の“8on”と“2oFF”を交互に表示します。

7. 変更したい設定項目を選択後、設定値変更ボタンを押して設定値を変更します。

(設定内容についてはページ20の表2. 各種設定の内容を参照してください。)

例. 脱水時間を“3分”から“5分”にする場合



(設定値変更ボタンを押し続けると(2秒以上)設定値は自動で早送りされます。)

8. 5、6、7をくり返し、任意の行程、項目の設定を変更します。

- 最後に設定モードボタンを2秒以上押し続け、「ピーッ」という長いブザーが鳴ると変更内容が書き込まれ、設定変更を終了します。(4桁数字LEDの表示は通常表示(停止中の表示)に戻ります。)
変更内容はページ57のプログラム設定内容記録表に記入し、保管してください。



2秒以上押し続ける

(必ず押し続けてください。押さないと変更した内容が書き込まれません。)

●設定エラーについて

表6で示すような設定内容で書き込もうとした場合、設定エラーとなります。正しく設定しなおして、再度書き込んでください。

表6. 設定エラー

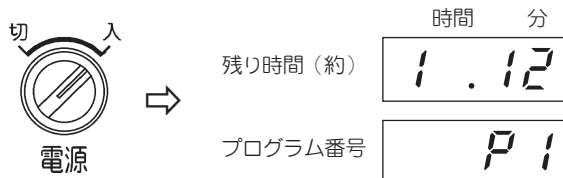
原因	表示	対処
P1～P7プログラムにおいて、 ①全運転時間が0分の場合。 ②脱水行程の脱水時間が0分の場合。(洗い1～すすぎ4の運転時間が0分の場合をのぞく)	ピッピッピッとブザーが鳴り、洗い1行程の洗い時間設定「Fun」を表示します。	①全運転時間が0分にならないよう、各行程の運転時間を設定して書き込んでください。 ②洗い1～すすぎ4の運転時間が0分でない場合は、必ず脱水時間を1分以上に設定してください。

ご注意	<p>下記の場合、設定変更した内容が書き込まれません。このときは、もう一度設定しなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定中に5分間どのボタン(スイッチ)も押さなかった。 ●設定中に設定モードボタンを2秒以上押さなかった。 ●設定中に電源を切にした。
------------	---

<あるプログラムの内容をそのまま別のプログラムへコピーする場合>

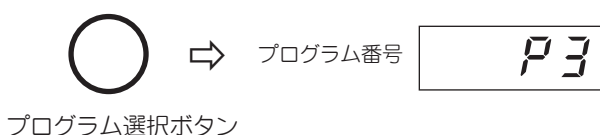
(例：P3をP5にコピーする)

1. 電源を入にする。

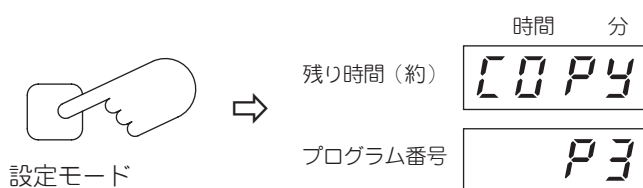


- 電源ランプが点灯します。
- 前回運転したプログラム番号とその運転時間を表示します。
<例：前回P1運転で運転時間が72分の場合>

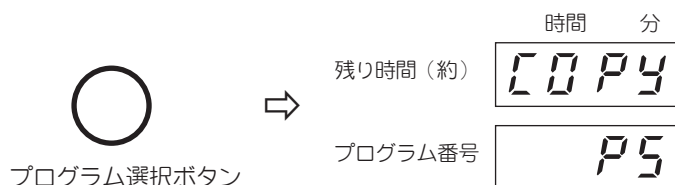
2. プログラム選択ボタンを押し、コピー元のプログラムを選択します。



3. 設定モードボタンを押すと、4桁数字LEDに「COPY」が表示され、コピーモードに入ります。



4. プログラム選択ボタンを押し、コピー先のプログラムを選択します。



5. 設定モードボタンを2秒以上押し続け、「ピーツ」という長いブザーが鳴るとコピー完了です。
(P1～P7プログラムでコピーモードが使用できます。)



ご注意	下記の場合、コピーされません。このときは、もう一度操作をやりなおしてください。 <ul style="list-style-type: none">● 設定中に5分間どのボタン（スイッチ）も押さなかった。● 設定中に設定モードボタンを2秒以上押さなかった。● 設定中に電源を切にした。
------------	--

③ 工場出荷時の設定に戻すには

- プログラムごとに工場出荷時の設定に戻すことができます。
プログラム設定中（☞ ページ 22 の 4～ページ 23）にプログラム選択ボタンを 10 秒間以上押し続けます。
4桁数字LEDの表示が「CLr」の点滅にかわり、ブザーが鳴ると設定を行っていたプログラムの内容が工場出荷時の設定（☞ ページ 18）に戻ります。
- プログラム設定中に選択しているプログラムのみ工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意

ブザーが鳴る前にプログラム選択ボタンをはなすと、工場出荷時の設定に戻りません。もう一度やり直してしてください。

積算カウンターの表示

- 運転回数とマイコンバージョンをモニターするためのカウンター機能です。

1 カウンター表示の内容

- カウンター表示の内容は表 7 のとおりです。
- 積算カウンターは、はじめに1～4桁、次に5～6桁を表示します。

表 7. カウンター表示

カウンター記号		積算数の表示
CC 1	P1 運転回数	0 ~ 999999
CC 2	P2 運転回数	
CC 3	P3 運転回数	
CC 4	P4 運転回数	
CC 5	P5 運転回数	
CC 6	P6 運転回数	
CC 7	P7 運転回数	
CC d	乾燥 (dry) 運転回数	
CC	P1 ~ P7、乾燥 (dry) の トータル運転回数	
VEr	マイコンバージョン	

2 カウンター表示のしかた



- 操作パネルのカウンターモードボタンと項目送りボタンにより行います。
- カウンターの表示は運転中または停止中（待機中）にモニターできます。
（試運転モニター中、トラブルモニター中はモニターできません）

準備

- 電源元のブレーカーを「入」にする。
- 前面板（上）を開く。
- 電源を入にする。

1. カウンターモードボタンを押します。

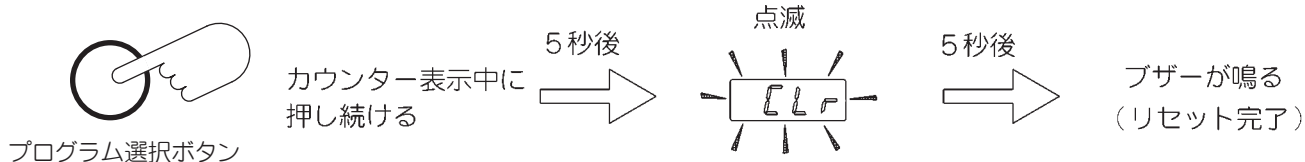
2. 4桁数字LEDにP1運転回数→P2運転回数→P3運転回数…乾燥(dry)運転回数の順番でカウンター記号と運転の積算回数を表示し、その後、トータルの積算回数、マイコンバージョンを表示します。

[カウンター表示例]



- カウンター表示中は、項目送りボタンを押すごとに次のカウンター表示にかわります。
- 積算カウンターは最高 999999 まで表示し、それを超えると、0に戻り積算を続けます。

3. カウンターをリセットするときは、カウンター表示中にプログラム選択ボタンを 10 秒以上押し続けます。
表示が「CLR」の点滅にかわり、ブザーが鳴るとリセット完了です。
リセット完了後、4桁数字LEDの表示はカウンター表示前の表示に戻ります。



ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ● カウンターのリセットは、P1～P7、乾燥(dry)の運転回数およびトータル運転回数を一度にリセットします。 ● ブザーが鳴る前にボタンをはなすとリセットできません。もう一度やりなおしてください。
-----	--

停電時の処置

- 運転中に停電になった場合、運転は停止し、排水バルブは動作しません。またドアはロックされたまま開きません。
- どうしても洗濯物を取り出したいときは、ドラムが回転していない状態で、水位がドアの最下部より低いとき（ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ない状態）に限り、ドアを開けてください。

1. ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ないことを確認する。
2. 前面板（下）を取りはずす。
3. ロックピンを上へ持ち上げドアハンドルを回しドアを開ける。
4. 前面板（下）を元どおり取り付ける。
 - 停電後、本体に通電されると、待機状態に戻ります。

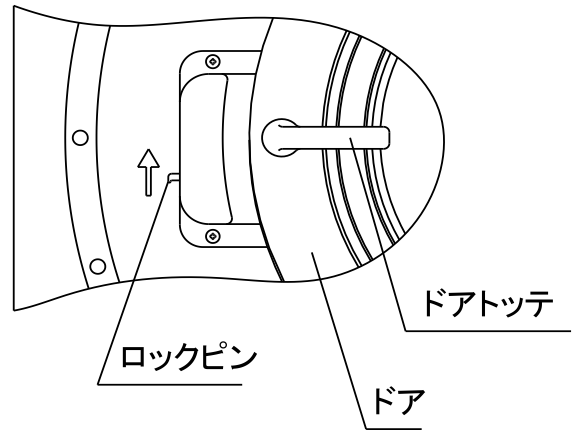


図3 ドアロック

⚠警告

ドラムが完全に止まるまでは、ドアロックを絶対に解除しないでください。ドラムの回転中にドラムの中へ手を入れると、衣類が手などに巻きついてけがをするおそれがあります。

⚠注意

トラブルモニターについて

- 本機には、万一トラブルが発生した場合、トラブルモニターによりその内容を表示します。
- トラブルが発生すると、
 - ①自動的に運転を停止。
 - ②表示部にトラブル番号と残り時間を交互に表示。
 - ③ブザーが10秒間鳴る。

1 トラブルの処置

- トラブルが発生した場合、表示している番号を確認し、表8に従い確認と処置を行ってください。

表8 トラブルの内容と処置

表示	トラブルの内容	確認項目と処置
H 00	ドアロック異常	ドアノブに詰まっているものがないか。
H 01	給水不良	・給水元バルブが閉まっていないか。 ・給水用ストレーナが詰まっていないか。
H 02	排水不良	排水口が詰まっていないか。
H 03	バランス不良	衣類のからまりを直したり、分散の悪い衣類を取り出す。
H 04	初期着火不良	・ガスの残量はあるか。 ・ガスの元栓は開いているか。
H 05	途中失火	ガスの残量はあるか。
H 06	風圧スイッチ異常	・リントフィルターの掃除を行う。 ・排気管が詰まっていないか。 ・フィルターフタが開いていないか。
H 07	バーナー過熱	・リントフィルターの掃除を行う。 ・排気管が詰まっていないか。 ・フィルターフタが開いていないか。 ・給気不足になっていないか。
H 08	ドラム過熱	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。
H 09	入口サーミスタ短路 / 断線	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。
H 10	出口サーミスタ短路 / 断線	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

表示	トラブルの内容	確認項目と処置
F 00	ドラムモーター用 インバータエラー	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。
F 01	ファンモーター用 インバータエラー	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。
F 05	・制御基板異常 ・電磁開閉器異常 ・ドラムモーター過熱	お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

② トラブルモニターの解除

- 電源を「切」にするとトラブルモニターを解除します。ただし、トラブルの内容によっては、ドアがロックされたまま開かないときや、ドラム内に水がたまっただけでトラブルモニターが解除できない場合があります。
- 表 8 の処置を行っても運転しないときはガスの元栓を閉じて電源元ブレーカーを切り、お買い上げ販売店へご連絡ください。
- トラブルモニターを解除すると、解除前の運転をキャンセルします。

△注意

- 異常の原因を取り除かないで再スタートした場合は、再びトラブルモニターがはたらきます。
- トラブル発生時は十分トラブルの原因を調べてから再スタートしてください。トラブルの原因を十分調べないまま何度も再スタートを行うと機械が故障したり、誤動作による事故や、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。
- 停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。

点検のお願い

毎日の始業前に点検してください。

⚠警告

点検やお手入れは必ず元電源を切ってから行ってください。

1 フィルターの掃除

- フィルターにゴミ（ほこりなど）が詰まると乾燥時間が長くなります。

掃除の手順

- ①必ず電源を切ってください。
- ②前面板（上）、フィルターフタを開け、フィルターを引き出します。（図5）
- ③フィルターに付着しているほこりなどを掃除機などでフィルターを破らないように注意して取り除きます。フィルター受けの周辺にたまったほこりなどもきれいに掃除してください。
- ④フィルターを元どおりに取り付け、フィルターフタ、前面板（上）を閉めます。

⚠警告

運転中は絶対にフィルターフタを開けないでください。運転中にフィルターフタを開けると、回転しているファンに手を巻き込まれてけがをすることがあります。

ご注意

- 乾燥運転中にフィルターフタを開けると、フィルターフタスイッチが動作し、H06を表示します。
- フィルターづまりが原因で修理依頼をされたときのフィルター掃除は有料です。
- フィルター受けからフィルターをはずすときに、フィルターを破らないでください。
- フィルターは取りはずし用のつまみを必ず上側にして取り付けてください。
- フィルターを取り付けずに運転しないでください。
- フィルターフタを開けたまま運転しないでください。

2 洗濯乾燥機本体の清掃

- 電源元ブレーカーを「切」にした後、洗濯乾燥機のフレーム、操作パネル、ドアなどを乾いた柔らかい布でふいてください。汚れのひどいときは中性洗剤を布に浸してからふいてください。タワシ、ミガキ粉、シンナー、ベンジン類は本体を傷付けますので絶対に使用しないでください。

3 ドアパッキンの清掃

- ドア内側のパッキンに、糸くず、ほこり、洗剤カス、砂などが付着しますので、湿った布でふき取ってください。付着したまま使用すると水漏れの原因になるおそれがあります。

4 水漏れの点検

- 給水及び給湯配管の接続部のゆるみなどによる水漏れの点検を十分にしてください。

⚠注意

凍結のおそれがあるときは、配管内の水抜きを行ってください。凍結によるホースやパイプ、バルブの破損による水漏れでの漏電・感電を防止するためです。

（ただし別途水抜き配管（☞ ページ 47）の接続が必要です。）

- 水抜きの手順
 - ①手元バルブを閉める。
 - ②水抜き用のバルブを開ける。
 - ③試運転モニター P53（給水、給湯バルブ）を運転する。（☞ ページ 10）

5 洗剤、柔軟剤の確認

- 洗剤及び柔軟剤が空になっていないか確認してください。

⚠注意

洗剤及び柔軟剤が空の状態でも運転を行うと、洗剤ポンプや柔軟剤ポンプの故障や破損のおそれがあります。

6 排気筒の点検

- 接続部分のゆるみ、はずれ及び、排気筒トップの破損などのないよう注意してください。

ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 集合ダクトの場合は、逆流防止ダンパーは自在に開閉できるかどうか、排気筒接続部分周辺などにほこりがたまっていないかどうかを点検してください。
------------	---

△警告

排気筒周辺にたまったほこりを放置すると排気の熱により発火するおそれがあります。

7 ガス漏れの点検

- ガス配管の接続部のゆるみなどによるガス漏れの点検を十分にしてください。

△警告

ガス漏れを放置すると、爆発、火災がおこるおそれがあります。万一ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用を中止して元栓を閉じ、窓や戸を開け換気を行ってください。その間は絶対に火をつけたりスイッチの入・切などは行わないでください。又、販売店、ガス事業者に連絡してください。

8 ドラム内の点検

- 必ず電源を切ってから点検してください。
- ドラム内が汚れていないか、またコインやヘアピンなどの異物が入っていないか点検してください。

△警告

ドラムの清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。残留成分により、爆発、火災がおこるおそれがあります。

9 ジャバラの掃除

- ジャバラにゴミ（ほこりなど）が詰まると乾燥時間が長くなります。

掃除の手順

- ①必ず電源を切ってください。
- ②前面板（上）、フィルターフタを開けます。
- ③フィルター手前下方に接続されているジャバラ内部に付着しているほこりなどを取り除きます。（ページ33、図5）
- ④フィルターフタ、前面板（上）を閉めます。

1 給水、給湯用ストレーナの清掃（☞ ページ 47）

- 水の汚れの程度によって異なりますが毎月1回、給水、給湯用ストレーナを清掃してください。
 （清掃をおこたると、給水時間が非常に長くなったり、助剤（洗剤や柔軟剤）がドラム内へ投入しにくくなります。）
- 清掃の手順
 - ①給水、給湯の元バルブを閉める。
 - ②試運転モニター P53（給水給湯バルブ）を運転する。（☞ ページ 9～13）
 - ③ストレーナ底部のネジを外す。
 - ④網を取り出し、付着物をブラシ等でこすりながら水で洗い流す。

△注意

給湯用ストレーナの掃除を行うときは、ストレーナの温度が十分下がってから行ってください。温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。給水・給湯のストレーナとも据え付け時、配管工事後はゴミ、シールテープなどが詰まりやすいので特に念入りに清掃してください。

2 後部吸気口の掃除

- 製品後部上方に吸気口があります。ほこりが付着したまま放置すると、安全装置（入口温度過昇防止サーモ）がはたらく原因になります。電源を切ってからきれいに掃除してください。

後部吸気口

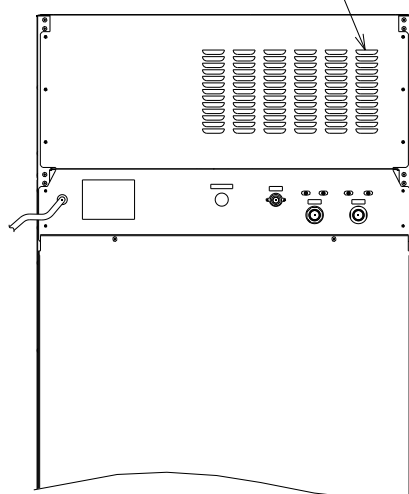


図4 後部吸気口

3 据え付け安定状態の点検

- 本体がガタついていないか、設置状態を点検してください。

定期的に点検してください。(1回 / 半年)

有料

定期点検のお願い

安全に、ご使用いただくため、また故障や火災事故予防のため、定期点検の実施にあたって、ご不明の点がございましたらお買い上げの販売店または、当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

1～**2**は、有料になりますがお買い上げの販売店または当社の「お客さまご相談窓口」に点検をご依頼ください。

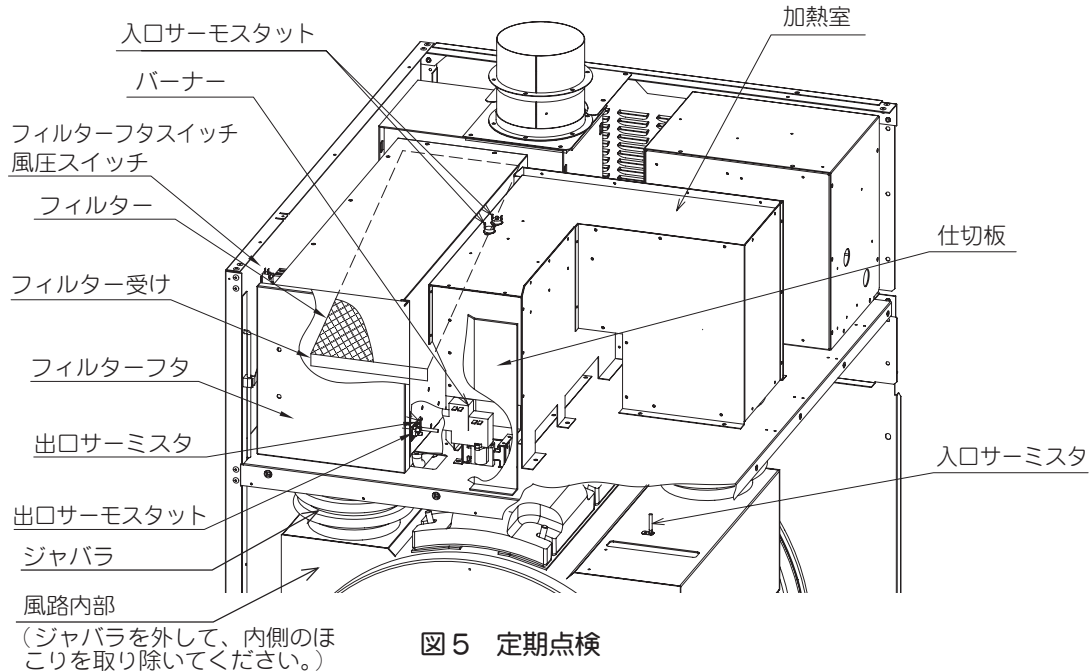


図5 定期点検

1 バーナー、加熱室、風路周辺の掃除

- 火災事故防止のためバーナー、加熱室、風路周辺のほこりを、電源を切ってから清掃してください。
- 清掃の手順
 - ①電源を切る。
 - ②前面板(上、下)を開く。
 - ③仕切板を取り外す。
 - ④バーナー、加熱室を掃除する。
 - ⑤フィルターフタスイッチ(風圧スイッチ)周辺を掃除する。
 - ⑥フィルター下方のジャバラを取り外し、風路内部を掃除する。

△警告

加熱室周辺及び点火プラグにほこりが付着していると、バーナーの炎やスパークでほこりが発火するおそれがあります。

2 サーミスタなどの感熱部の点検

- 必ず電源を切ってから点検してください。
- 感熱部のほこりをきれいに取り除いてください。

ご注意

掃除の際サーミスタ、サーモスタット先端を傷つけたり、折ったりすることがないように十分注意してください。サーミスタ、サーモスタットが破損すると、ドラム内温度の調節が正しくできなくなります。

3 バーナー燃焼状態の確認

- バーナーの炎が正常に燃焼しているか確認してください。
- リフト、逆火、異常音が発生している場合はガスの圧力を確認してください。
- 黄炎が発生している場合はバーナーノズルの空気取込み口に異物がないか点検してください。

△警告

この商品は、遠心機械であり乾燥設備です。HWD-7256Gの都市ガス仕様においては、乾燥設備作業主任技能講習を終了した者のうちから乾燥設備作業主任者を選任してください。

この商品は法律により1年に1回の自主定期検査が必要です。また、その記録を3年間保管するよう義務付けられています。

検査項目：①回転体の異常の有無、②主軸の軸受部の異常の有無、③ブレーキの異常の有無、④外わくの異常の有無、(遠心機械) ⑤①～④に掲げる部分のボルトのゆるみの有無(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項)

検査項目：①内面及び外面並びに内部のたな、わく等の損傷、変形及び腐食の有無

(乾燥設備) ②第294条第6号の乾燥設備にあつては、乾燥室その他点火する箇所の換気のための設備の異常の有無

③のぞき窓、出入り口、排気孔等の開口部の異常の有無

④内部の温度の測定装置及び調整装置の異常の有無

⑤内部に設ける電気機械器具又は配線の異常の有無(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第299条)

定期検査は、当社の「お客さまご相談窓口」へお申し付けください。

修理を依頼される前に

- 機械が正常に動作しない場合、必ずしも機械本体の故障とは限らないこともあります。ご使用中に異常が起こった場合、お手数でも表9で原因を調べて処理をしてください。どうしても原因の分からないときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの「販売店」または、当社の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

⚠警告

自分で絶対に分解や修理はしないでください。感電やショートによる火災、異常動作によるけがのおそれがあります。

表9 故障診断

原因	故障の状態				処置方法
	表示部が点灯しない	運転がスタートしない	バーナーに火がつかない	乾燥が不十分	
電源元ブレーカが入っていない場合	●	●	●		ブレーカを入れる
ドアを完全に閉じていない		●	●		ドアを確実に閉める
給水、給湯の元バルブが閉まっている		●			元バルブを開く
ガス配管の元コックが閉まっている			●		元コックを開く
プロパンガスボンベのガス切れ			●		ボンベの交換
ガス配管中の空気が抜けていない			●		乾燥運転を繰り返し行くと抜ける
衣類の入れすぎ				●	適正にする
排気筒が長すぎる、または内径が小さい				●	排気筒を適正にする (☞ ページ51)
リントフィルターの詰まり				●	リントフィルターの掃除
出口(乾燥)温度の設定が不適				●	出口(乾燥)温度設定の変更

アフターサービスと保証について

1) この商品には、保証書を別途添付しています

ご購入の際は必ず保証書をお受け取りの上、保存してください。尚、店名、設置年月日の記載のないものは無効となります。

2) 保証期間は設置日から1年間です

保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

3) 保証期間経過後の修理については

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社は、この全自動洗濯乾燥機の補修用性能部品を製造打ち切り後、13年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) 修理依頼時にご連絡いただきたい内容

以下の内容を事前に確認してご連絡ください。

- (1) 商品名 全自動洗濯乾燥機
- (2) 品番（表示パネルに表示しています。）
- (3) 設置日
- (4) お買い上げ販売店
- (5) 故障の状況（できるだけ詳しく。）
- (6) 製造番号（製品、保証書に記載してあります。）
- (7) おところ、おなまえ、電話番号
- (8) 訪問希望日

6) 修理やアフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

7) 外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

⚠警告

- 自分で絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、又異常動作によるけがのおそれがあります。
- 本機を廃棄される場合は、本機前面のドアを取りはずしてください。子どものいたずらによる閉じ込め事故を防ぐためです。

転居または移設の場合

- 転居または移設される場合には、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」へご相談ください。この場合の費用は実費をいただきます。

仕 様

機種	種	HWD-7256G	HWD-7156G
電源	源	3相 200V 50-60Hz	
洗濯容量	量	25kg (乾燥布質量)	15kg (乾燥布質量)
乾燥容量	量	15kg (乾燥布質量)	8kg (乾燥布質量)
洗濯方式	式	回転ドラム式	
脱水方式	式	遠心脱水式	
乾燥方式	式	強制排気型回転ドラム式	
乾燥熱源	源	LPガスまたは都市ガス (12A・13A)	
ガス消費量 (連続燃焼時)		LPガス: 20.9kW	LPガス: 12.4kW
		都市ガス: 13A...20.9kW	都市ガス: 13A...12.4kW
		12A...19.4kW	12A...11.4kW
定格消費電力 (脱水時)		1280W	840W
乾燥時消費電力		600W	330W
モータ出力		ファン用: 0.75kW	ファン用: 0.4kW
		ドラム用: 3.7kW	ドラム用: 1.5kW
制御方式		マイクロコンピュータ制御	
着火検出方式		熱電対方式	
ドラム回転数	洗濯 / すすぎ	40rpm	45rpm
	脱水	800rpm	850rpm
	乾燥	45rpm	50rpm
使用水量 (P17°の値)	洗濯	103L	64L
	すすぎ1	91L	58L
	すすぎ3	74L	46L
	1サイクル	268L	168L
最大風量		12m ³ /min	7m ³ /min
接続排気筒		口径...内径Φ 200mm	口径...内径Φ 150mm
		(配管許容長さ...直管相当長さ 20m以内)	
配管口径	給水 / 給湯	20A (3/4B)	
	排水	外径: 89mm [硬質塩化ビニル管 呼び径 75]	
	ガス接続口	15A (Rc1/2)	
ドラム寸法		直径Φ 800mm × 奥行 540mm	直径Φ 650mm × 奥行 510mm
最大外形寸法		幅 1003mm × 奥行 1184mm × 高さ 1976mm	幅 855mm × 奥行 1169mm × 高さ 1820mm
電源コードの長さ		約 4.5m	
製品質量		約 700kg	約 484kg

※電源電線は必ず据付工事編の「電気配線工事と接地工事」に記載された容量以上のものを使用してください。

※本仕様ならびに装備は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属部品

部品	個数	仕様	用途
ストレーナ	2	BC製 120メッシュ 20A (3/4B) (茶色)	給湯・給水配管用
排水ホース	1	軟質塩化ビニル 内径: 89mm [硬質塩化ビニル管 呼び径 75用] 長さ: 1m	排水ホース用
給液ホース(フィルター付)	2	軟質塩化ビニル 内径: 8mm 長さ: 3m	洗剤・柔軟剤吸込み用ホース
ホースバンド (小)	2		給液ホース固定用
ホースバンド (大)	2		排水ホース固定用
角ワッシャー	4	M12用角ワッシャー	据え付け用 (アンカボルト用)
シム	10	厚さ1mm	据え付け用 (調整用)
取扱説明書	1		
保証書	1		
使用説明板	1	シール	プログラム表示板
引渡し確認書	1	複写式	
サービス説明書	1		

据付工事編

本機の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、給水排水配管、ガス配管、及び給排気工事はそれぞれ専門の工事業者が行ってください。

★必ず据え付けの前に次の注意事項をよくお読みいただき、正しく工事を行ってください。

★ここに示した注意事項は

使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った据付工事を行うと生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。



設置してはいけない場所

本機は、ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。爆発、火災がおこるおそれがあります。



禁 止

必ず屋外に排気する

本機の排気中には水蒸気、炭酸ガス、糸くず等を含んでいます。必ず排気筒で屋外へ排出してください。ガスの不完全燃焼や酸素欠乏事故が生じるおそれがあります。



強 制

設置した場所は十分に換気する

設置室の状況に応じた給気口及び排気筒を設けて十分な換気を行ってください。室内への燃焼排ガスの充満や酸素不足によって、ガスの不完全燃焼や酸素欠乏事故が生じるおそれがあります。



換気実施

(☞ ページ 50)

警告

据付工事を行う方へ

● 製品を安全に正しくご使用いただくために本編の指示に従って工事を行ってください。なお詳細は一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」をご参照ください。



強制

- 据付工事に際しては当該地域の条例および規定によるほか本編をご参照ください。
- 据付工事終了後に取扱説明書に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。

アースは確実に取り付ける

洗濯乾燥機専用のアースを必ず設けてください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させます。工事は接地工事についての指示に従ってください。
(☞ ページ 45)



アース線接続

ガス仕様を確認する

工事の際には本機後面のガス仕様表示板を確認して、ご使用のガスの種類と合っているかどうか確かめてください。ガス仕様が異なっているとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。



ガス仕様確認

排気筒の形状は

排気筒は、必ず排気口径に相当する断面積以上 (HWD-7256G: 約 315cm²、HWD-7156G: 約 177cm²) で、直管相当長さが 20m 以内のものを使用してください。径が小さすぎたり、長すぎるものを使用すると、十分に排気できず乾燥が悪くなったりトラブルの原因になります。(☞ ページ 50 ~ 55)



排気筒確認

電源仕様を確認する

工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。



電源仕様確認

屋外には設置しない

この洗濯乾燥機は室内用です。必ず屋内に設置してください。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるばかりか、ガス燃焼が不安定になり、火災がおこるおそれがあります。



水場での使用禁止

ブレーカーは必ず取り付ける

本機を据え付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。(☞ ページ 45)
故障して漏電や過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。



漏電遮断器設置

本機にガス配管を接続するときは

製品内部のガス配管を締めすぎないでください。ガス配管を締め過ぎると、各接続部に無理な力がかかり、破損やガス漏れ事故の原因になります。またガス管出口と製品との接続は、必ず金属製のガス用フレキシチューブ、またはガス会社指定の同等品で接続してください。
(☞ ページ 49)



強制

給気口の形状は

給気口の大きさは必ず本機の排気口径に相当する断面積以上としてください。
(HWD-7256G: 約 315cm²、HWD-7156G: 約 177cm²) この形状以下の給気口の場合、室内の十分な酸素供給が行われず、ガスの不完全燃焼や酸素欠乏事故が生じるおそれがあります。複数台数設置するときは、おのおの洗濯乾燥機または乾燥機に必要な断面積の合計以上としてください。
(☞ ページ 50)



給気口確認

湿気の多い場所への設置はしない

湿気の多い場所には据え付けないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



湿気禁止

警告

腐食性のガスやほこりのたちやすい場所に設置しない

美容院、美容院、およびクリーニング店などのような、アンモニア、塩素、ヘアスプレー、クリーニング溶剤を使用する場所や、布または綿などのほこりの多い場所には設置しないでください。ガス機器の損傷による不完全燃焼の原因となります。(業務用ガス機器の設置基準および実務指針)



禁 止

注意

本機の後ろ側に入るときは

機器の後ろ側には回転物や高温部があります。これらに触れてけが、やけどをしないように注意してください。



禁 止

周囲に可燃物を近づけない

火災事故防止のため本機の上部、近辺には可燃物を置かないでください。特に排気口の周囲 60cm、吹出方向 60cm の範囲内には可燃物が無いようにしてください。



禁 止

本機の配置の際は

保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、本機と建築物の部分等の離隔距離は「据付工事編」の配置方法に従ってください。(☞ ページ 40)



離隔距離保持

都市ガスの場合

本機ガス接続部のガス入口圧力はガス仕様に応じて適切な圧力になるように接続してください。また、主管の形状は「8. ガス配管」の指示に従ってください。これらが適切でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。

(☞ ページ 49)



ガス圧確認

冬場、凍結のおそれがあるときは水抜きを行う

“水抜きバルブ”を設け、水抜き配管を行い、凍結によるホース破損を防止してください。

ホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電がおこるおそれがあります。

(☞ ページ 46 ~ 47)



凍結注意

プロパンガスの場合

本機ガス接続部のガス入口圧力は 2.8kPa になるように接続してください。また、使用 LP ガスの種類、容量、本数、供給方法及び主管の形状は「8. ガス配管」の指示に従ってください。これらが適切でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。(☞ ページ 50)



ガス圧確認

電気配線とガス管は近づけない

電気配線はガス供給管から少なくとも 15cm 以上離してください。また、電気配線は金属管またはフレキシブルコンジットなどで保護してください。万一の爆発事故を防止します。



禁 止

機械の据え付け

△警告

- 製品を安全に正しくご使用していただくために本編をよくお読みになり、指示に従って工事を行ってください。なお、この資料は、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」に従って作成しています。詳細はその資料をご参照ください。
- 製品の設置については地域により消防署への届出が必要な場合があります。各市町村の消防署にご確認ください。
- 本機の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、機械や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。
- 据付工事に際しては当該地域の条例および規定によるほか本編をご参照ください。
- 据付工事終了後に取扱説明書および引渡し確認書に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。

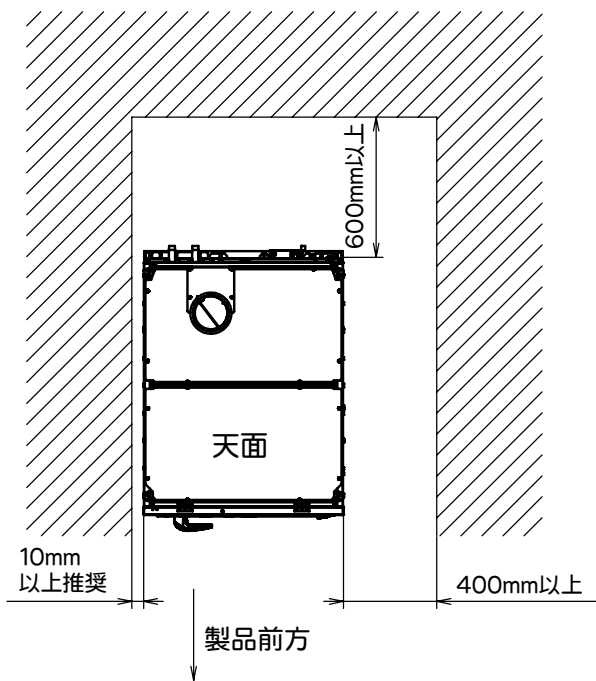
(参考値) 床振動

	HWD-7256G	HWD-7156G
静止時に床にかかる荷重	6.86 kN	4.74 kN
運転時に床にかかる最大荷重	8.21 kN	5.84 kN
最大荷重時の振動周波数	13.3 Hz	14.2 Hz

1 配置

△注意

- 保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、ガス機器と「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」との離隔距離は図-6,7,8に従ってください。
- 不燃材料の場合は、ガス機器の保守、点検など安全性を考慮して、必要な空間を確保してください。また、機器や建築物等に密接させると、振動で異音や破損に繋がる恐れがありますのでご注意ください。



(側面の空間寸法は図に示す状態と左右反対でもよい。)

図6 設置平面図

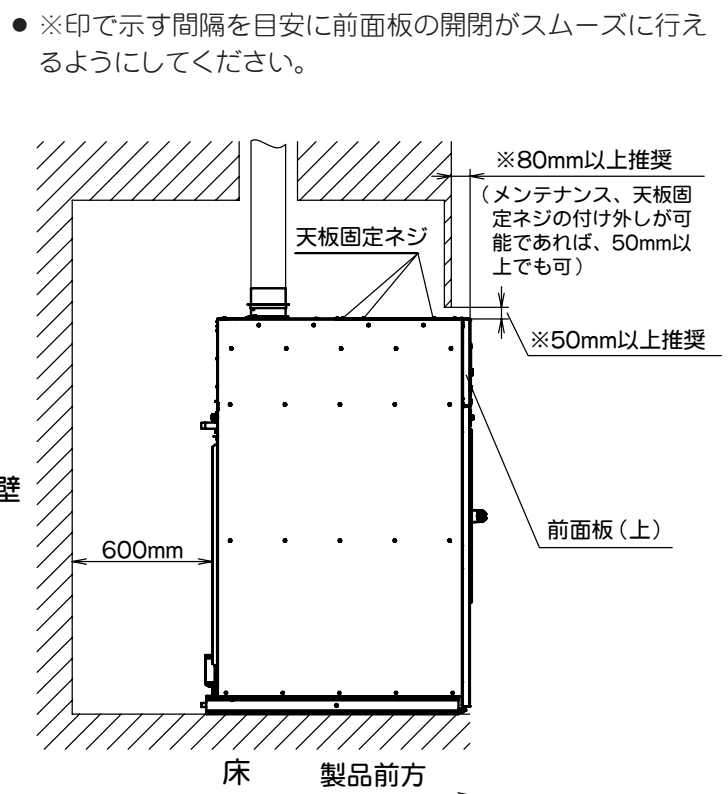


図7 設置側面図

ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を2台以上並べて使用する場合、前面板の開閉がスムーズに行えるように側面の間隔をとってください。 ● はめ込みによる配置により、側面に点検用通路を設けない場合は裏面を点検する為の入口を別に設けてください。逆に裏面を点検する入口を設ける事ができない場合は、本機の少なくとも一方に裏面点検用の通路（40cm以上）を設けてください。 ● 本機は燃焼排ガス、放射熱などによってガスメーター、ガス配管、電気設備等に悪影響を与えない位置に設置してください。 	<p>前面板がスムーズに開閉できる間隔 (10mm以上推奨)</p> 
図8 2台以上並べる場合		

△注意

保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、本機と建築物の部分等の離隔距離は図に従ってください。また、図7に示す天板固定ネジの上方にはたれ壁等を設けないでください。

△危険

本機は、ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。爆発、火災がおこるおそれがあります。

△警告

この洗濯乾燥機は室内用です。必ず屋内に設置してください。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となります。

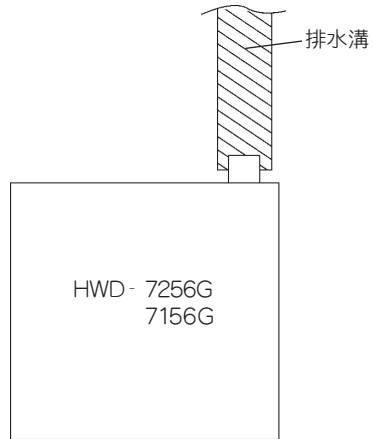
△注意

- 火災事故防止のため洗濯乾燥機の上部、近辺には可燃物を置かないでください。
- 機器の後ろ側にはモーター、プーリーなどの回転物あるいはバーナー、排気筒などの高温部があります。これらに触れてけが、やけどをしないように注意してください。

ご注意	周囲温度が高い場所に設置すると故障の原因になります。年間を通して40℃以下の環境が保たれる場所に設置してください。
------------	---

2 基礎工事

- 基礎の深さは地盤により異なりますが、コンクリートは100mm以上の厚さを確保してください。
- 排水を確実にを行うため、排水能力に余裕のある排水溝を設けてください。



3 輸送金具の取り外し

- アンカーボルトを締め付ける前に輸送金具を取り外してください。

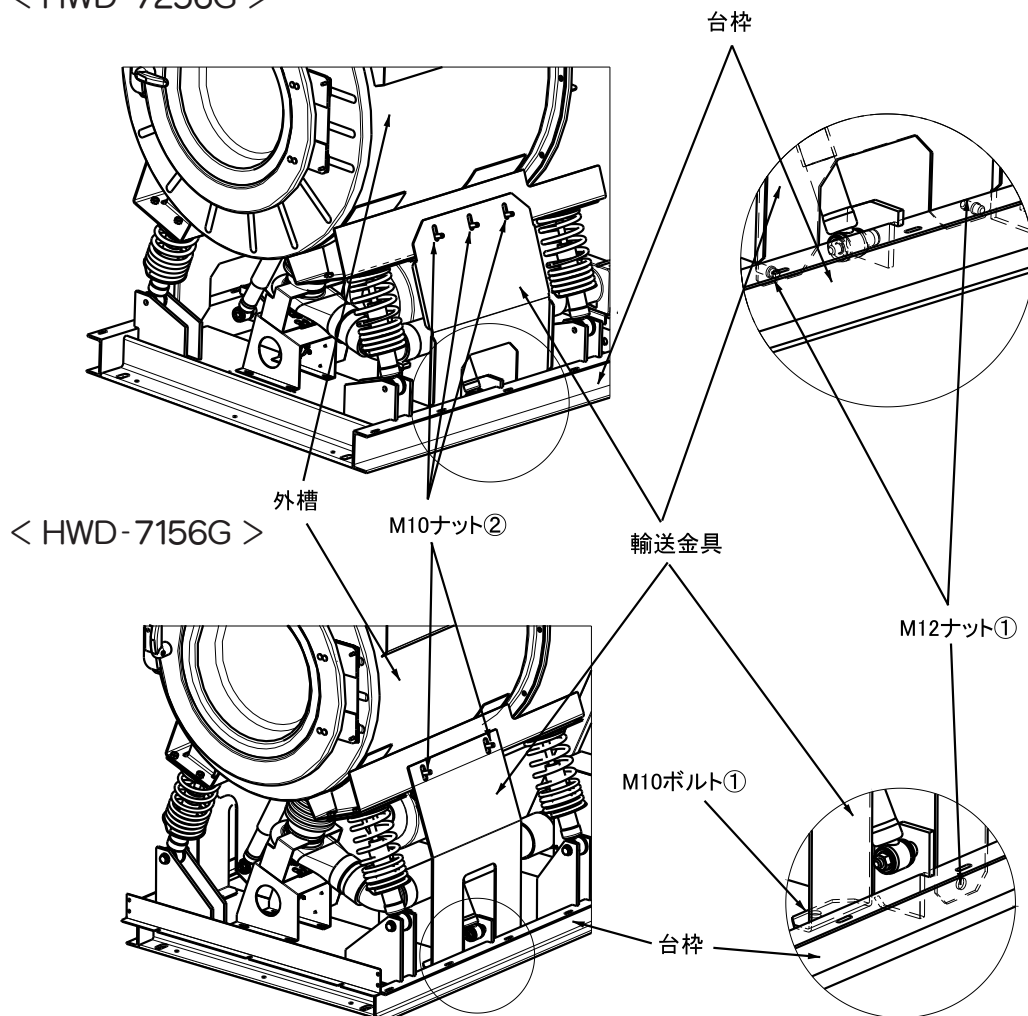
ご注意	この機械の輸送金具は左右 2 箇所にあります。 輸送金具を付けたまま運転すると、機械が破損するおそれがあります。 輸送金具を取り外す時は、必ず手袋、長袖等の保護具を着用してください。
-----	---

〔輸送金具の取り外し手順〕※左右 2 箇所同様。

1. 前面板（下）を取り外す。
2. ① HWD-7256G の場合
台枠と輸送金具を固定しているM12ナット①を機械の内側から取り外す。
② HWD-7156G の場合
台枠と輸送金具を固定しているM12ナット①、M10ボルト①を機械の内側から取り外す。
3. 外槽と輸送金具を固定しているM10ナット②を取り外し、左右の輸送金具を取り外す。
4. 前面板（下）を元どおり取り付ける。

<輸送金具取り外し説明図>

< HWD-7256G >



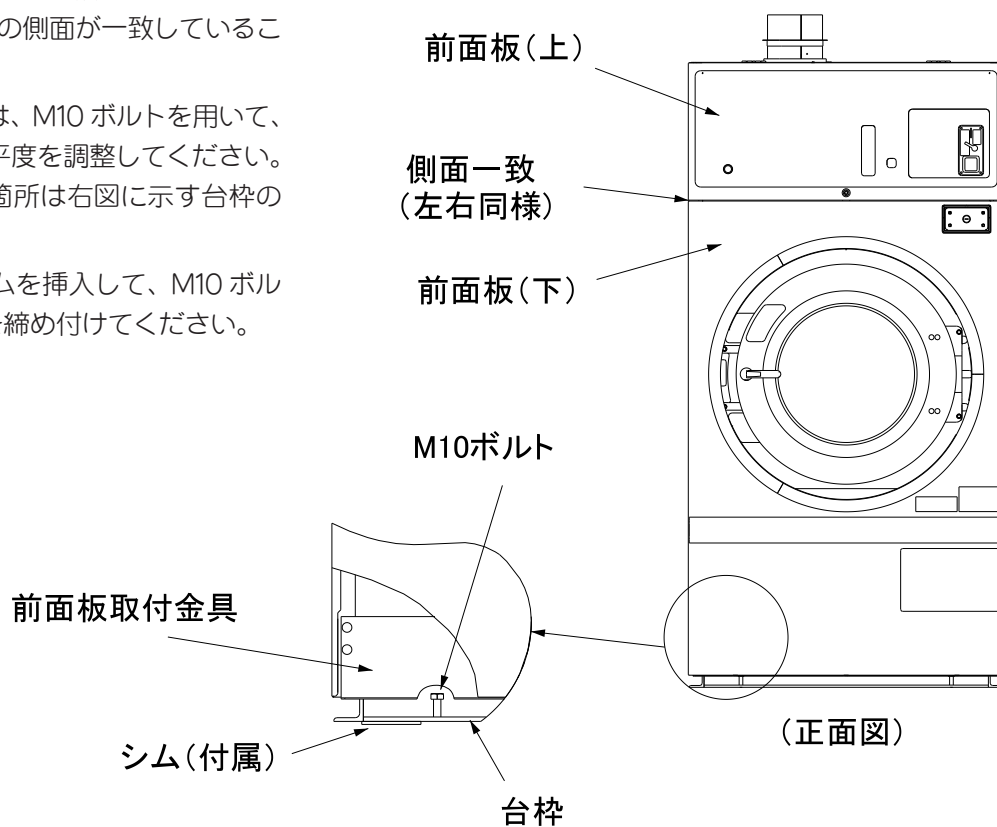
4 据え付け

※必ず輸送金具を取り外してから行ってください。

1 前面板（上、下）の側面が合っているか確認してください。

※アンカーボルトを締め付ける前に確認してください。

- ①前面板（下）を上下6本のネジで仮止めし、前面板（上）の側面と前面板（下）の側面が一致していることを確認してください。
- ②側面が一致していない場合は、M10 ボルトを用いて、側面が合うように台枠の水平度を調整してください。（M10 ボルトで調整できる箇所は右図に示す台枠の前後計4ヶ所あります。）
- ③再調整した状態で付属のシムを挿入して、M10 ボルトを外し、アンカーボルトを締め付けてください。



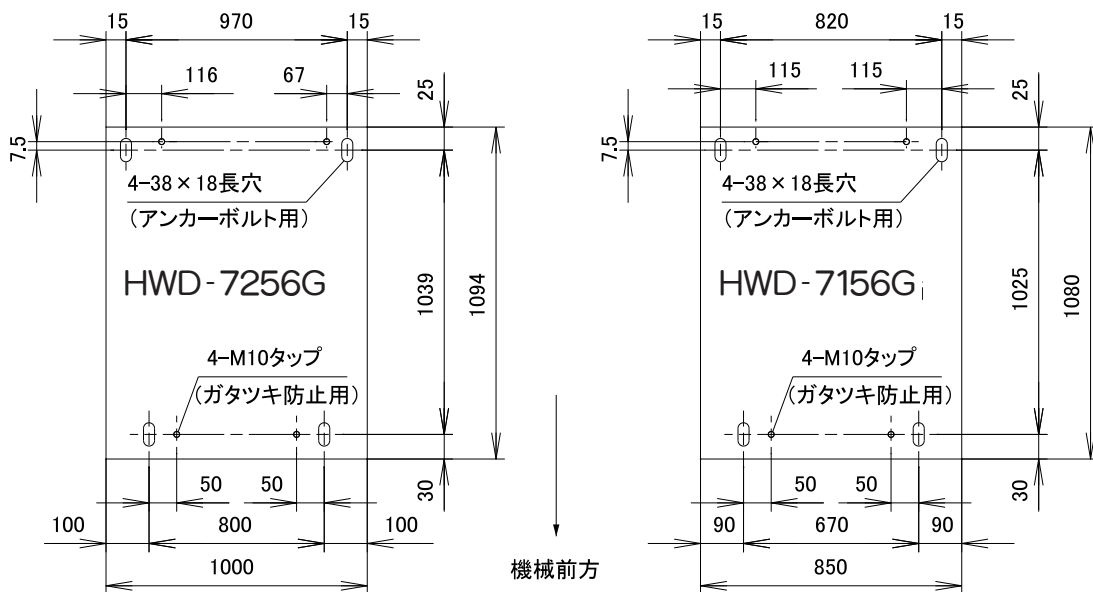
2 アンカーボルトで固定する。

※前面下部の前面板取付金具を取り外すと作業が行いやすくなります。(P43の図参照)

△注意

- 機械の据え付けは、水平な面に左右、前後とも傾きやがたつきがないよう設置し、必ず M12 アンカーボルトで固定してください。
- 設置床面にゴムシートなどの弾性体を敷かないでください。(ゴムシートなどがあると逆に振動が増加します)
- M10 ボルトの使用は水平調整時のみにし、恒久的な使用は行わないでください。
- 機械をブロックの上に載せたり、アンカーボルトで固定せずに据え付けしないでください。機械の振動が大きくなり故障の原因となります。
- 機械を部分的に架台に載せる据え付けをしないでください。機械の振動が大きくなり故障の原因となります。

＜アンカーボルト位置＞



3 振動スイッチのギャップ寸法を確認してください。

※アンカーボルトを締め付けた後に確認してください。

- 振動スイッチのギャップ寸法 [右図※印] が

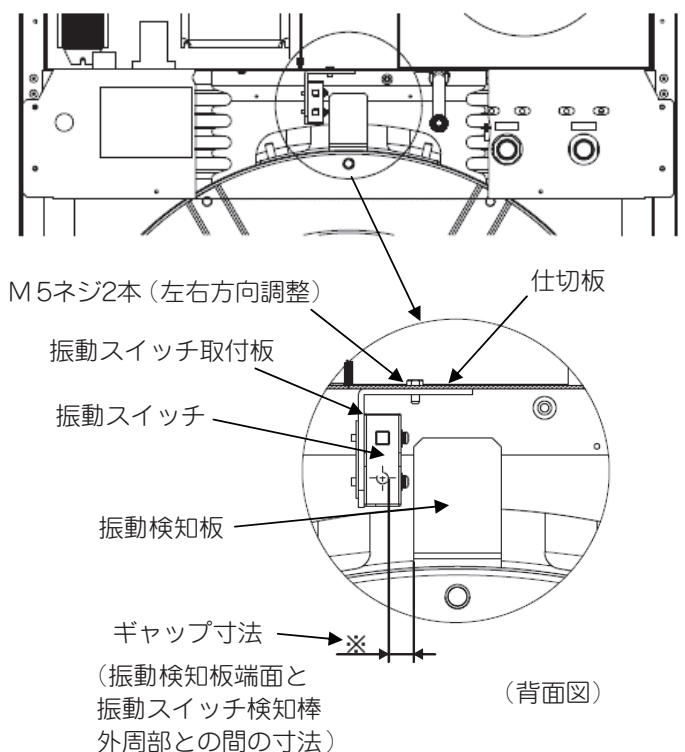
HWD-7256G: **18 ± 1mm**

HWD-7156G: **17 ± 1mm**

になっていることを確認してください。
寸法が調整範囲になっていない場合は、下記の手順で調整してください。

＜調整方法＞

- ① 后面板 (上・下) を取り外す。
- ② 振動スイッチ取付板を固定している M5 ネジ 2 本をゆるめ、上記ギャップ寸法になるように左右方向を調整し、ネジを締め付ける。
- ③ 后面板 (上・下) を元どおり取り付ける。



電気工事

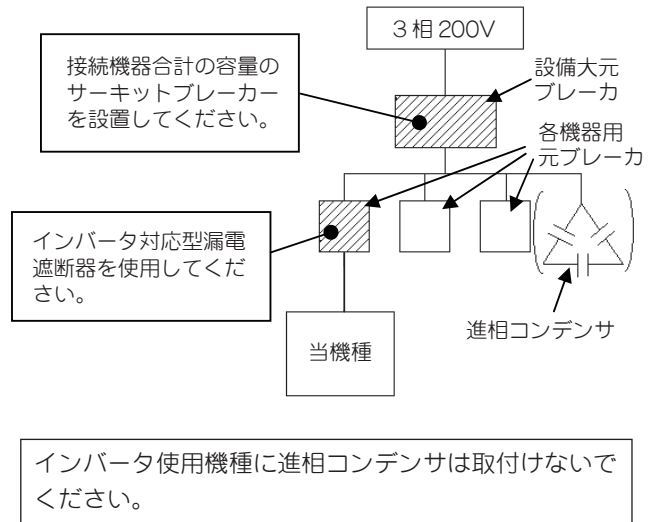
電気工事には電気工事士の資格が必要です。専門の工事業者に工事を依頼してください。

5 電源

- 電源には必ず本機専用として下記仕様のものを設けてください。
3相 200V 50 または 60Hz
定格電流：20A (6.9KVA)
漏電遮断器 (感度電流 30mA 動作時間 0.1 秒以内)
- 電源電線は下記容量以上のものを必ず使用してください。
より線…2.0mm² 単線…φ 1.6 (導体径)
- 土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。
- 電気配線はできるだけ金属線管またはフレキシブルコンジットで保護してください。
- 電気配線はガス供給管や蒸気配管に接近させないでください。(15cm 以上離すこと。)
- 回転方向
本機はインバータ制御のため電源線の入替えでは脱水行程でのドラム回転方向は変わりません。“前から見て右回転 (↻)” です。

<ご注意>

当機種はインバータを使用しています。
以下の内容に注意して設置してください。



漏電遮断器は、機器毎に設置してください。設備大元には、接続機器合計の容量のサーキットブレーカーを設置してください。

△警告

- 本機を据付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。故障して漏電、過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。
- 故障などの理由により電源コードを交換する場合、お買い上げ販売店または当社の「お客さま相談窓口」、専門の工事業者に工事を依頼してください。

△注意

- 据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

6 アース

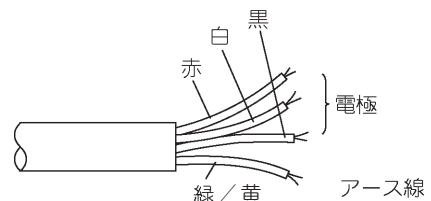
△警告

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用の D 種接地工事 (第 3 種接地工事) を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。

ただし、次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- 水道管：配管の途中で塩化ビニル管の場合はアースされません。
- ガス管：爆発や引火の危険があります。
- 電話線のアースや避雷針：
落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

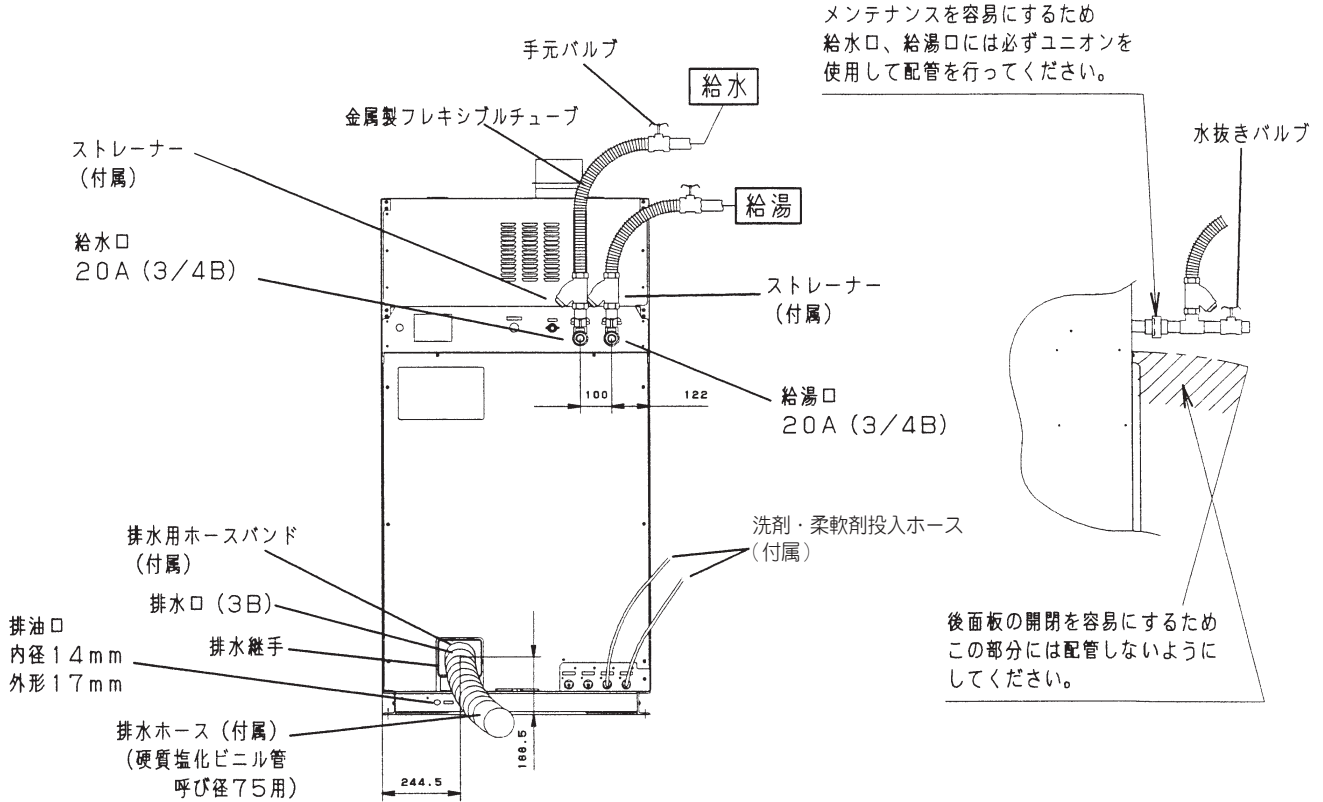
- アース工事は電源電線の 4 芯キャブタイヤケーブルの緑色のアース線をアース端子に接続して本機単独の D 種接地工事 (第 3 種接地工事) を行ってください。



(注) アースについては、D 種接地工事 (第 3 種接地工事) が法規で義務づけられています。

7 給水、排水配管

1 配管位置と寸法



△注意

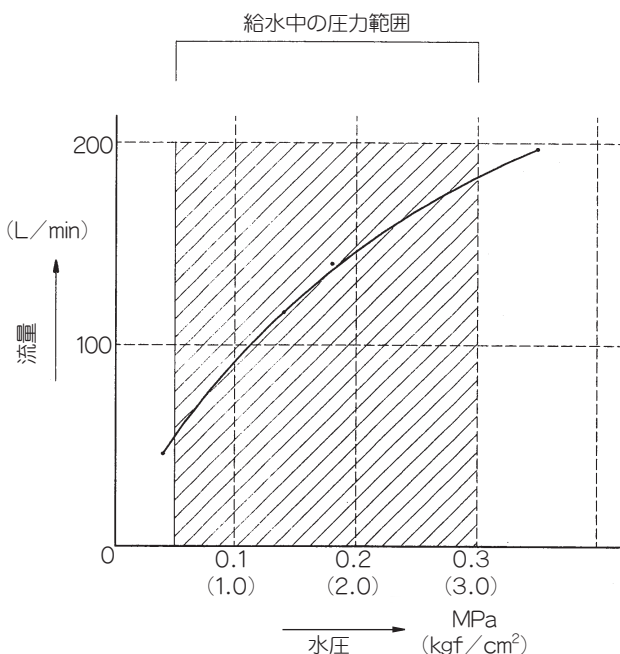
- 洗濯機の給水・給湯口の配管は水道法の「給水装置」として取り扱われます。
当社の洗濯機の洗濯槽内の給水口から水面（越流面）までの吐水口空間は200mm以下ですので、適切な逆流防止対策（受水槽方式など）が必要です。各市町村の水道局または水道課にご確認ください。
- 排水液には有害物質は含まれていませんが、排水経路によっては届出が必要です。地域の保健所などにご確認ください。

2 給水、給湯配管

- 付属のストレーナを用いて給水口（給湯口）に給水（給湯）配管を接続してください。
- 給水、給湯とも必ず手元バルブを取り付けてください。（手元バルブは本体に付属していません）
- 給水（給湯）元と本体の配管接続は必ず途中で金属製フレキシブルチューブを用い、可とう性を持たせてください。可とう性のない配管を行うと、振動により配管が破損し水漏れの起こるおそれがあります。
- 冬期に凍結のおそれがある場合は、“水抜きバルブ”を設け、水抜き配管を行ってください。（水抜きバルブは付属していません）又、冬期に凍結のおそれのない場合でも、“水抜きバルブ”を設けておくとか何かトラブルが生じた際にメンテナンスが容易になります。
- 給水（給湯）圧力は0.05～0.3MPaを保ってください。

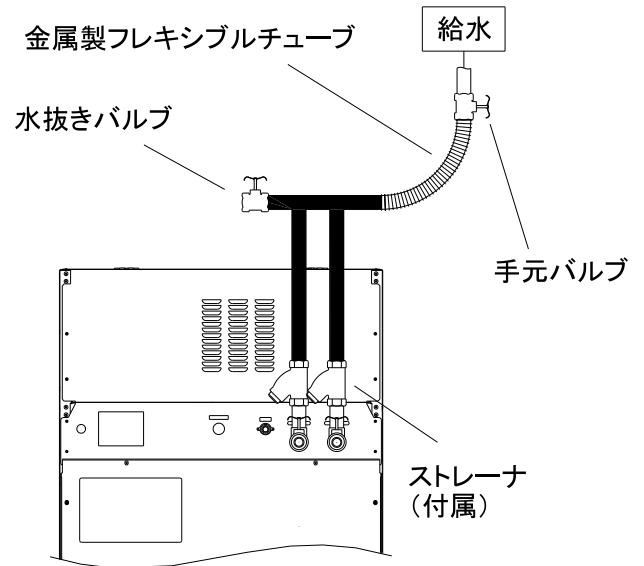
水圧が低すぎる場合…給水、給湯時間が長くなります。
 水圧が高すぎる場合…給水、給湯バルブが正常に動作しなくなります。

- 給水量と水圧は下図を参照ください。



[給湯を行わず、給水配管のみを行う場合]

- 必ず給水口と給湯口の両方に給水配管を接続してください。給湯口に給水配管を接続しなかった場合、試運転モニターのP 53 および温水位のみを設定した運転でトラブルモニターH 01（給水不良）がはたらきます。



ご注意

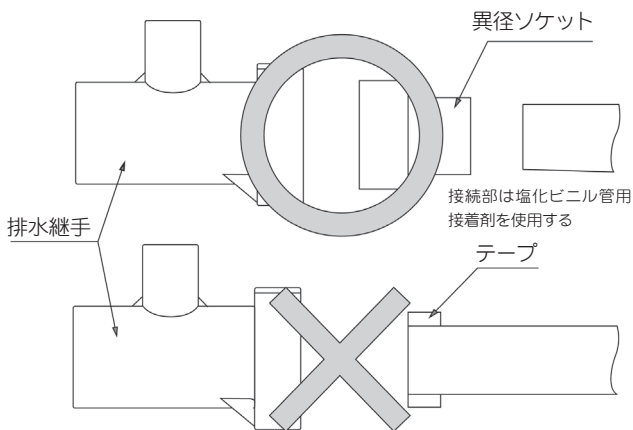
配管工事を行った後は、シールトテープ、配管ゴミ、スケールなどが初めに詰まることが多いため、試運転にて十分給水、給湯を行った後ストレーナを掃除してください。

△注意

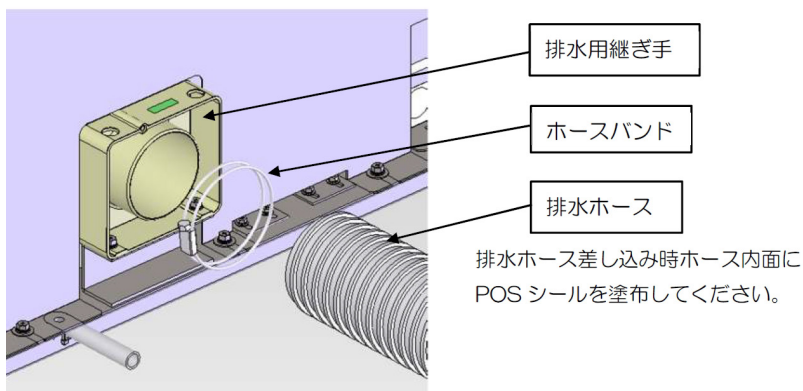
- 給湯に使用する温水は60℃未満にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電のおそれがあります。
- 給水（給湯）の配管接続には、必ず新しい配管を使用し、古い配管の再使用はしないでください。破損による水漏れの生じるおそれがあります。

3 排水配管

- 排水ホースを排水口までの長さに合わせて切断し、先細りや先上りにならないようにして排水口と接続してください。
- 本体排水管と排水ホースとは付属のホースバンドにてしっかりと接続してください。
- 排水管の関係でどうしても先細りでないと接続できない場合は異径ソケットにて径をおとして接続してください。排水管にテープを巻きつけ接続すると、異物が排水管に引っかかることがありますので絶対におやめください。
- 排水の匂いが気になる場合は、U字トラップ構造としてください。



異径ソケットによる径のおとし方



製品後面

ご注意

排水用継ぎ手へのホースバンドの締め付けは、インパクトドライバーを使用しないでください。(手締めをお願いします。)インパクトドライバーで締めすぎると、樹脂の継ぎ手が破損する可能性があります。

4 洗剤、柔軟剤吸込み用ホース

- 付属の給液ホースをホースバンド（付属）を用いて、製品後部右下の洗剤、柔軟剤用ポンプに接続してください。(☞ ページ 17)
- 据付当初や、洗剤、柔軟剤のタンクを交換したときは、試運転方法 P60、P61 (☞ ページ 10) に従ってホース内のエアを抜き取ってください。エア抜きを行わないと、洗剤、柔軟剤が正しく注入されません。

ご注意

本製品では洗剤、柔軟剤は外部タンクからの供給となります。

5 排油口

- 本製品には、何らかのトラブルでオイルシールが破損した場合、ベアリングを保護する為の排油口を製品の後部下に設けています。この場合、排油口からわずかつつですが、水及びグリスが排出されますので適当な容器で受けてください。(☞ ページ 6~7)

8 ガス配管

- ガス配管は都市ガス用の場合は必ず金属管、金属可とう管、強化ガスホースまたは機器接続ガス栓を用いてください。
LP ガス用の場合は金属管、金属フレキシブルホース、LP ガス燃焼器接続用継手付ホースまたは機器接続ガス栓を用いて容易に外せないように接続してください。
- 接続具はガス用接続材料として認められたものをご使用ください。

- 金属可とう管、強化ガスホース、金属フレキシブルホース及びLP ガス燃焼器接続用継手付ホースは、本機を入れ替えるときには同時に取り替えてください。
- 強化ガスホース、LP ガス燃焼器接続用継手付ホースは、火災や放射熱等により高温になる場所、油脂、溶剤等が付着するおそれのある場所、ホースに異常な外力が加わる場所には使用しないでください。

△警告

- 工事の際には本機後面のガス仕様表示板を確認して、ご使用のガスの種類と合っているかどうか確かめてください。ガス仕様が異なっているとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。
- 本機にガス配管を接続するときは製品内部のガス配管を締めすぎないでください。ガス配管を締めすぎると、各接続部に無理な力がかかり、破損やガス漏れ事故の原因になります。

①都市ガス（12A、13A）の場合

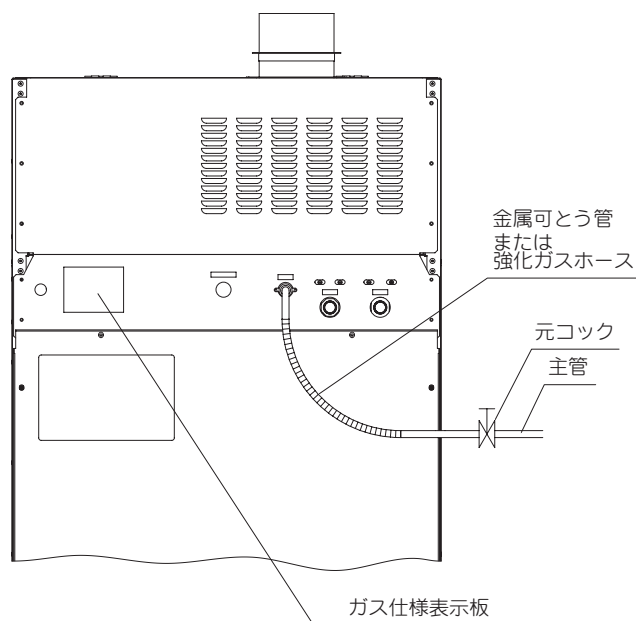
- 本機 1 台あたりのガスの消費量は、
< HWD-7256G >
13A：20.9kW
12A：19.4kW です。
- < HWD-7156G >
13A：12.4kW
12A：11.4kW です。

- 本機の保守・点検が容易にできるよう、操作しやすいところに元コックを設けてください。
- 金属管による接続工事は、ガス事業者に依頼してください。
- 金属可とう管または強化ガスホースによるねじ接続工事は、ガス可とう管接続工事監督者に依頼してください。

△注意

ガスを適切な状態で燃焼させるために

- 本機ガス接続部のガス入口圧力は2.0kPaになるように接続してください。
 - 本機の近くまでガス管を導く主管は、20A（3/4B）以上のガス管を使ってください。
なお本機を2台以上並べて使用する場合は台数に応じた太さのガス管で接続してください。
- これらが適切でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。



②プロパンガスの場合

- 本洗濯乾燥機 1 台あたりのガスの消費量は、
HWD-7256G:20.9kW
HWD-7156G:12.4kW です。
- 本機の保守・点検が容易にできるよう、操作しやすいところに元コックを設けてください。
- 接続工事は液化石油ガス設備士が行ってください。
- ガスボンベの設置、ガス配管は LP ガス法や取扱い基準などの法的な規定に従って工事を行ってください。

△注意

ガスを適切な状態で燃焼させるために

- 本機ガス接続部のガス入口圧力は 2.8kPa になるように接続してください。
- ガスは LP ガス法によるい号またはろ号液化石油ガスを用い、容器は 50kg ボンベを使用してください。
- 供給方法は低圧一般供給法としてください。これは調整器 1 個を用いて、容器内圧力から直ちに低圧 2.8kPa まで減圧して供給する方法です。
- 本機の近くまでガスを導く主管は、20A (3/4B) 以上のガス管を使ってください。なお本機を 2 台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さの配管にしてください。

これらが適切でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。

9 給気口と排気筒

△危険

設置室の状況に応じた給気口および排気筒を設けて十分な換気を行ってください。室内への燃焼排ガスの充満や酸素不足によって、ガスの不完全燃焼や酸素不足事故が生じるおそれがあります。排気は必ず屋外へ排気してください。給排気設備を設置するにあたって、形状、設置方法、本機との関係及び周囲の隣家への配慮などについては下記の方法を参照してください。

①給気口

- 室内の空気の浄化、熱の排除、酸素の供給などのため、必ず給気口を設けてください。
- 給気口は外気に面した壁に設けてください。ただし、給気経路が確保されている場合は隣室側の壁に設けてもかまいません。
- 給気口の位置は炎の立消えなど本機への悪影響のない場所で、室内がよく換気され、さらに排気筒トップから排気ガスが流入しない位置に設けてください。
- 給気口には雪雨水の流入、またはねずみ、ほこり、その他有害なものの侵入に対応するため、水切り、または防虫網等を設けてください。

△警告

- **給気口の大きさ**は必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上としてください。
(HWD-7256G: 内径 20cm、断面積約 315cm²) (HWD-7156G: 内径 15cm、断面積約 177cm²)
この形状以下の給気口の場合、室内の十分な酸素供給が行われず、ガスの不完全燃焼や酸素欠乏事故が生じるおそれがあります。複数台数設置するときは、おのおの洗濯乾燥機または乾燥機に必要な断面積の合計以上としてください。
- 防火ダンパーは絶対に取り付けしないでください。ガス機器に直結した排気筒（建築基準法でいう煙突）に防火ダンパーを取り付けると、防火ダンパー等の作動（閉塞等）により重大なガス事故につながります。防火ダンパーの取り付けは、法令で禁止されています。（建設省告示第 1826 号第 4 第 2 号（昭和 45 年））（☞ ページ 52）

②排気筒

- 本機の排気中には水蒸気、炭酸ガス、糸くず等を含んでいます。必ず排気筒によって屋外へ排出してください。
- 屋内の排気筒材料（直管、曲がり管等）、および屋外の排気筒材料（直管、曲がり管、防鳥構造を含む排気筒トップ、T字管、排気筒固定用具、抜け出し防止金具）は、SUS304 またはこれと同等以上のものまたはチタンの材料を使用してください。
- ガス衣類乾燥機の都市ガス仕様に接続する排気筒の材質は、SUS304 あるいは同等以上のものまたは、チタンを使用することが、「ガス事業法施行規則第 108 条」で規定されています。一方、ガス衣類乾燥機の LP ガス仕様に接続する排気筒の材質は、「液化石油ガス法」では規定されておきませんが、安全性を確保する観点から、新設、再使用に関わらず、都市ガス仕様と同等の材質の排気筒を使用してください。
- アルミジャバラ排気筒は使用しないでください。（耐久性がなく破損のおそれがあります）
- 排気筒は点検、維持が容易にでき、修理や取り替えに必要な範囲の隠ぺい部材の取り外しができるように配慮して設置してください。
- 排気筒長さは途中の曲折をできるだけ少なくして、「排気筒長さの計算」（☞ ページ 55）による許容長さが 20m 以内になるようにしてください。
- 排気筒が長く、排気風量が不足し、強制排気システム

を設ける場合は、法令に従って施工するよう専門業者にご相談ください。（ガス事業法施行規則第 108 条、建設省告示第 1826 条（昭和 45 年））

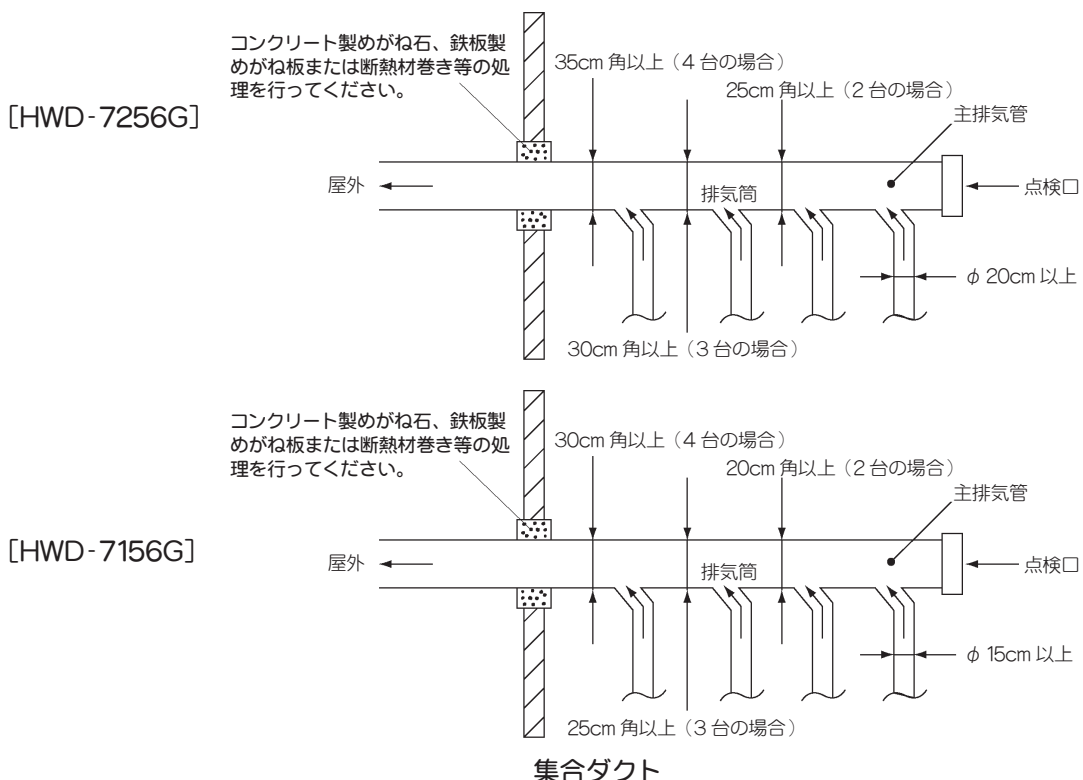
- エルボの使用は 3 ケ所以内にし、できるだけ曲げ R の大きいものを使用してください。
- 排気筒は必ず排気口の外側に挿入してください。また、ネジ止めで固定する場合、ネジ位置は排気口ダンパー開閉の妨げにならないところにしてください。排気口ダンパーの開閉ができないと事故やトラブルの原因になります。
- 排気筒の壁貫通部は、排気筒と壁との間に燃焼排ガスが屋内に流れ込むすき間のないよう処置してください。
- 本体との接続および排気筒同士の接続は自重、風圧、積雪荷重及び振動などに十分に耐え、さらに排気筒を構成する接続部が容易に外れないよう、専用リベット、専用ボルトなどで堅固に取り付け、コーキングシール材充填または耐熱テープを巻きつけてください。
- 排気筒の勾配については、排気筒を屋外に向かって先下がり勾配とし、凝縮水を屋外に導くようにするほか凝縮水がたまるような垂れ下がり部を作らないように設置してください。（ガス事業法施行規則第 108 条第 2 号口（5）、「業務用ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行））

警告

排気筒は、必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上で、直管相当長さが 20m 以内のものを使用してください。（HWD-7256G: 内径 20cm、断面積約 315cm²）（HWD-7156G: 内径 15cm、断面積約 177cm²）
径が小さすぎたり、長すぎるものを使用すると、十分に排気できず乾燥が悪くなったりトラブルの原因になります。

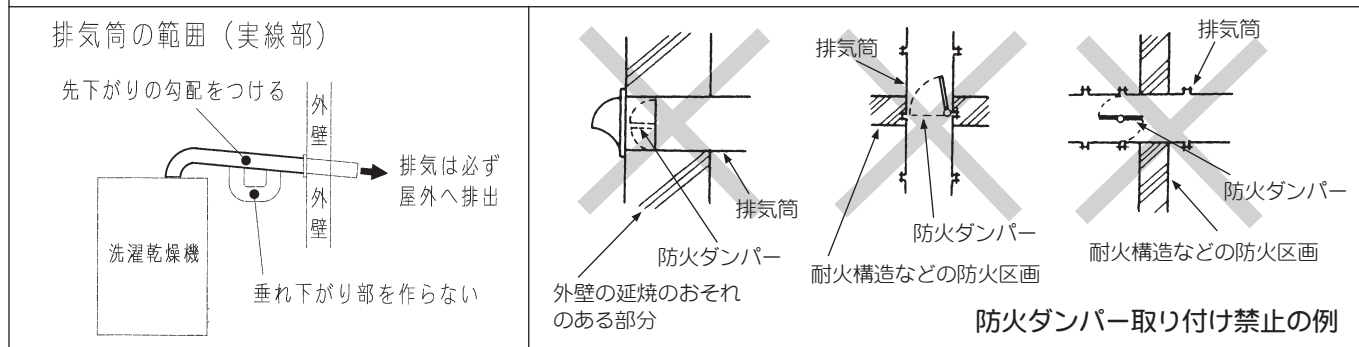
ご注意

- 2 台以上の洗濯乾燥機の排気筒を共同で集合し設ける場合、下図のように行ってください。



- 集合ダクトの場合、本機からの排気筒を主排気筒に接続するときは、出口方向への排気がスムーズにできるよう、約 45 度傾ける等の配慮をしてください。（直角に接続すると排気が妨げられます。）

ご注意



③開放空間及び隠ぺい部（天井裏、床下等）における排気筒の仕上げ

- 排気筒と「可燃材料、難燃材料、または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離は排気筒の直径の1/2以上とした上ですき間をコンクリート、モルタル等の不燃材料でうめるかまたはコンクリート製めがね石、断熱材巻き鉄板製めがね板などを防火上支障がないように処置してください。
- 天井裏等の隠ぺい部分に排気筒を設置する場合は、接続部を排気漏れのない構造とし、堅固に接続するとともに、金属以外の不燃材料で覆ってください。

隠ぺい部	隠ぺい空間部	<p>● 20以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合</p> <p>(単位 mm)</p>	貫通部	<p>● 周囲排気筒径の1/2以上の空間</p> <p>● 20以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合</p> <p>(単位 mm)</p>
	隠ぺい貫通	<p>(単位 mm)</p>		<p>● 鉄板製めがね板</p>
	空間	<p>断熱施工なし</p>		
	部	<p>断熱施工をした場合</p> <p>(単位 mm)</p>		
<p>〔開放空間での断熱施工の例〕</p> <p>排気</p> <p>厚さ20mm以上のロックウール</p> <p>金網</p> <p>仕上げ [ロックウール保温材を固定するものとして、金網、番線締め等があります。]</p> <p>[例：JIS A 9504 (人造鉱物繊維保温材)]</p>				

「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）による

開放空間及び隠ぺい部における排気筒の仕上げ方法

④排気筒トップ

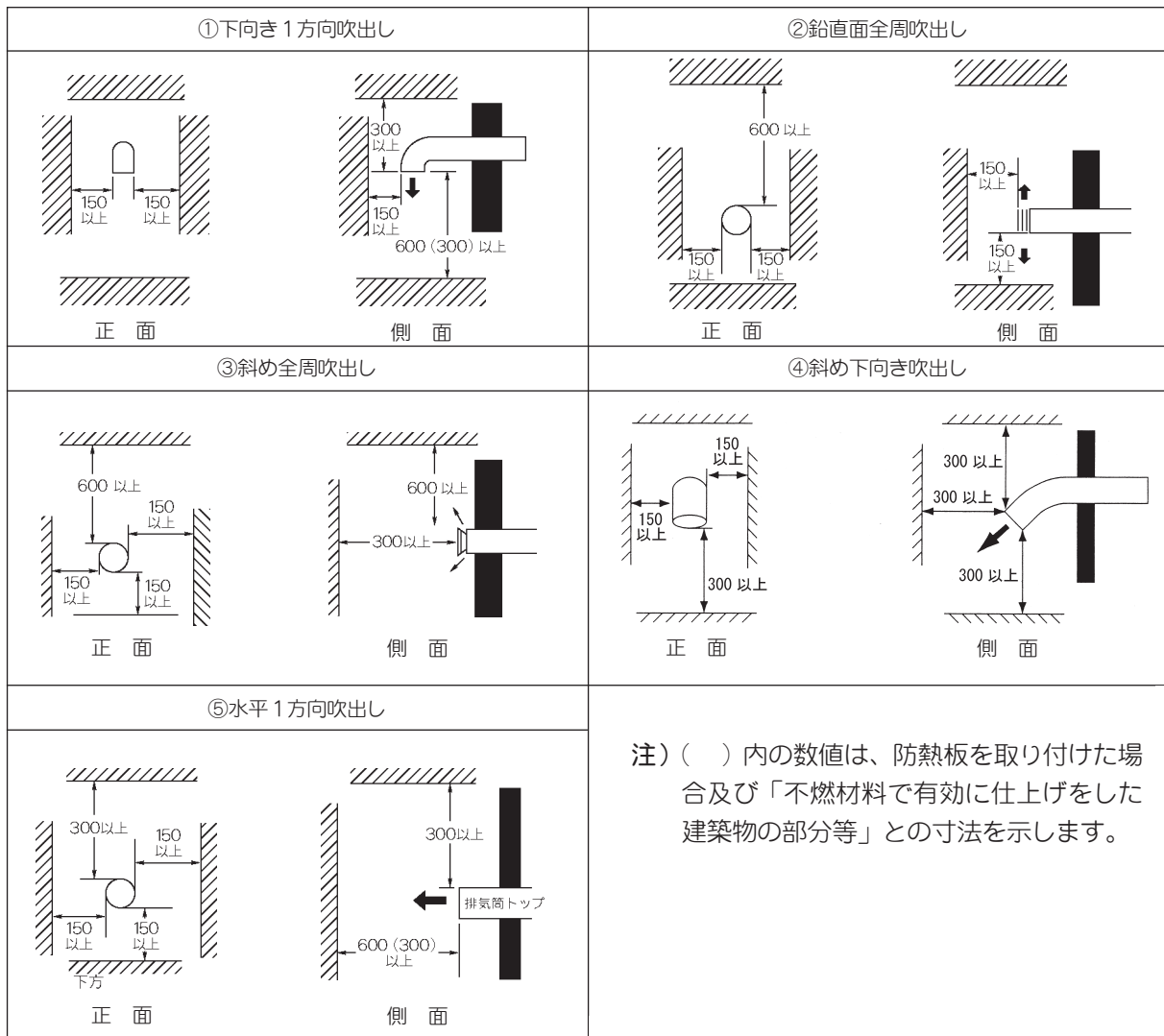
- 排気筒頂部に風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けさらに逆流防止のためできるだけ風圧帯範囲外に設置してください。
- 排気筒の先端に金網を取り付けると細かい綿ぼこりが蓄積して、風路が妨げられ、排気不良を起こしたり乾燥不良の原因となりますので行わないでください。
- 風の強く吹き込む所、通路、人通りのある所、屋内、床下などに排気口を向けないようにしてください。
- 排気の臭い、音、風などによってご近所に迷惑のかわからないようにしてください。
- 排気筒トップは水洗物用乾燥機以外の共用排気筒などに接続しないでください。

△注意

火災事故防止のため本機排気口の周囲 600mm、吹出方向 600mm の範囲内に可燃物が無いようにしてください。

- 排気吹出口周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」とは下図に従って離隔距離をとってください。

(単位 mm)



「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」(一般財団法人日本ガス機器検査協会発行)による

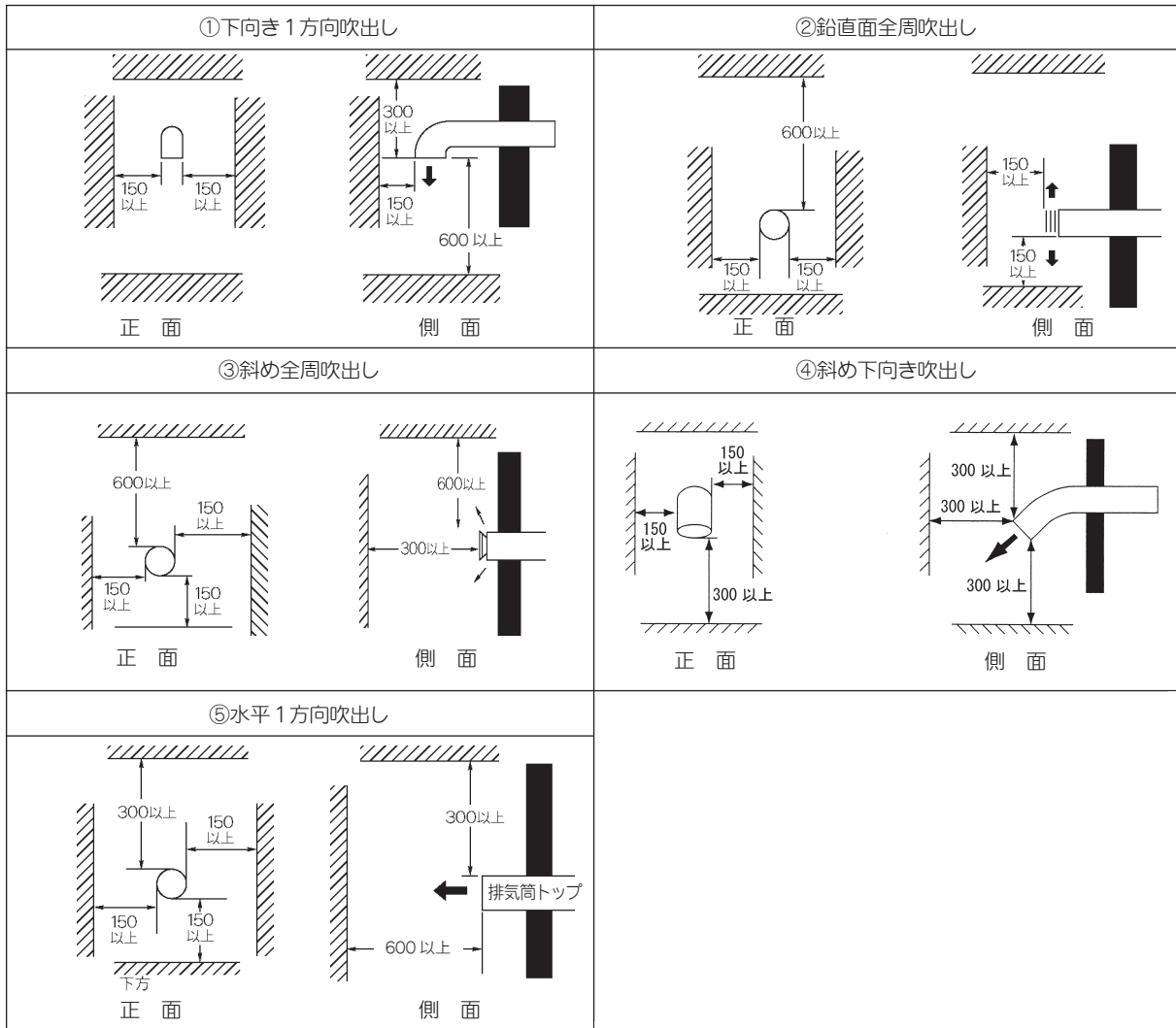
排気筒トップ周辺の離隔距離

⑤排気吹出し口と建物開口部との離隔距離

- 排気吹出口を決める際には下図に従って排気吹出口周辺に燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（洗濯乾燥機または乾燥機を使用する際に開

る窓やドア、及び常時開放されている換気口など）が無いようにしてください。

(単位 mm)

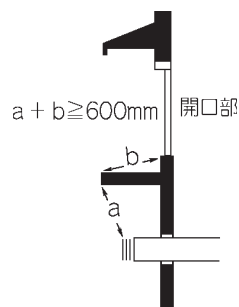


「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）による

排気吹出口と建物開口部との離隔距離のとり方の例

- 排気吹出口の上方に有効な遮へい物を設けた場合、建物開口部との離隔距離は下図に従ってください。

(鉛直面全周の場合)

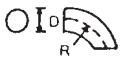

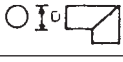



上方に有効な遮へい物を設けた場合の離隔距離の例

⑥排気筒長さの計算

- 曲折部および先端は表 10 から直管相当長さに換算し加算します。
- 直管はそのままの長さを加算します。

表 10 曲管等の換算表

	形 状	条 件	等値の直管の長さ
円形の曲管		$\frac{R}{D} = 1$ $\frac{R}{D} = 1.5$ $\frac{R}{D} = 2$	2.6m 1.8m 1.5m
円形で ジャバラの曲管		$\frac{R}{D} = 1$ $\frac{R}{D} = 1.5$ $\frac{R}{D} = 2$	6 m 4.5m 3.5m
円形折継ぎ			8 m
ベントトップ (H型) (陣笠)			2 m

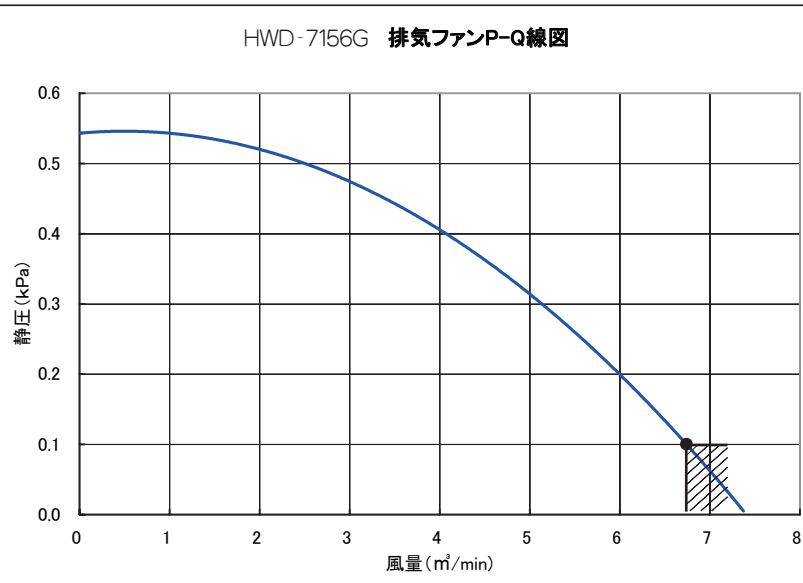
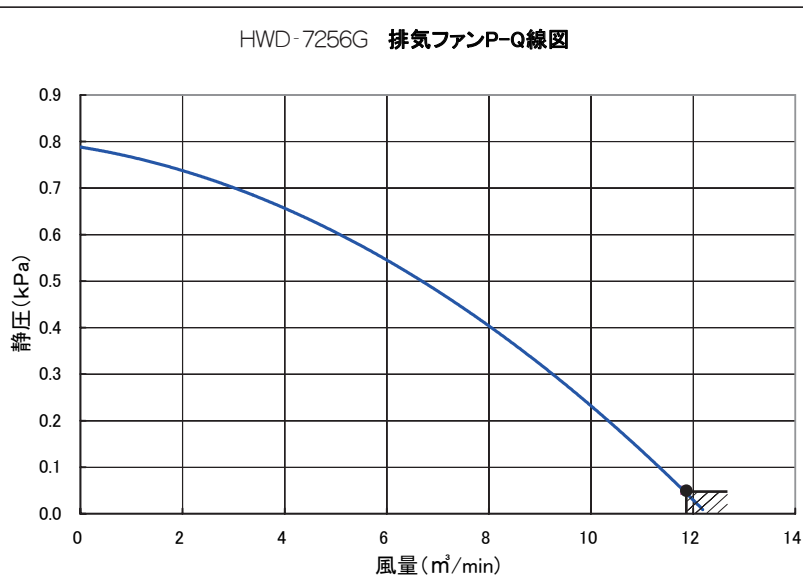
計算例

- 横引き 2m、立上り 3m、 $\frac{R}{D} = 2$ の円形でジャバラの曲管 2 個、H 型ベントトップをつけたときの計算長さは
 $2+3+(3.5 \times 2)+2=14\text{m}$

参考

- 排気筒の静圧を測定して排気風量を換算する場合は下図の P-Q 線図をご利用ください。

排気ファン P-Q 線図



- で表した点が 20m 配管時のものです。風量がこの点よりも大きくなる様な排気筒長さ（斜線部の風量）でご使用ください。

10 切り替えスイッチ

- 本機のメンテナンス時に、制御基板上のスイッチの切替えを行うことがあります。
必要に応じてスイッチを切替えてください。

※ 下記に記載していないスイッチは絶対に変更しないでください。

＜切替スイッチの設定方法＞

- ①電源を切る。
- ②前面板（上）を開く。
- ③操作パネルの固定ネジ（4本）を外し、操作パネルを開く。
- ④SW101の各スイッチを切り替える。（☞ ページ 56、図 9、10 参照）
- ⑤操作パネル、前面板（上）を元に戻す。
- ⑥電源を入れる。

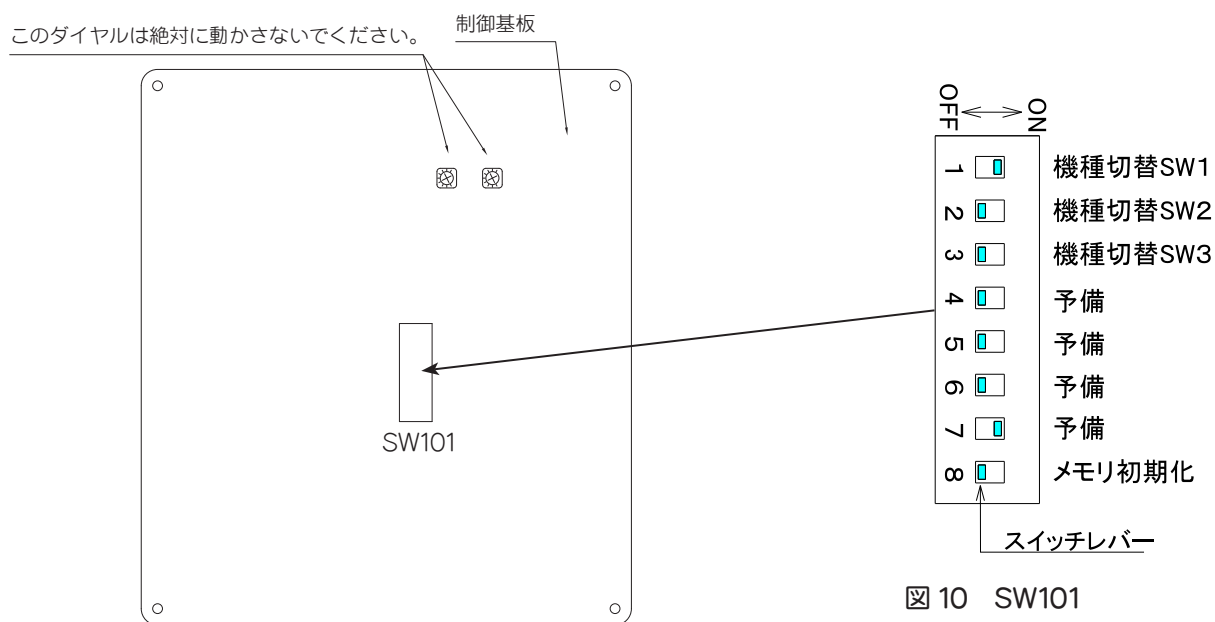


図 9 制御基板

表 11 SW101

位置 番号	名称	はたらき	スイッチレバーの位置	
			OFF (左側)	ON (右側)
1	機種切替	使用機種を切り替える	HWD-7156G	HWD-7256G
2	機種切替	使用機種を切り替える	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	
3	機種切替	使用機種を切り替える	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	
4	予備	-	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	
5	予備	-	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	
6	予備	-	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	
7	予備	-	HWD-7156G	HWD-7256G
8	メンテナンス用 (メモリ初期化)	-	必ず OFF (左側) の位置にしておいてください	

11 その他

- 全自動洗濯乾燥機を設置する場合には消防機関に届出を行ってください。なお自治体によっては届出の範囲が異なりますので詳しくは各自治体の消防機関に確認してください。
- 消防条例にもとづき本機設置場所には消火器を設置してください。
- 本機を設置する部屋には建物の形態によってはガス漏れ（火災）警報設備またはガス漏れ警報器等の設置が必要です。設置方法、設置場所等詳細については「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）に従ってください。
- 使用方法、取扱注意等を判り易く、お客さまの見やすい位置にポスター、掲示物等で表示してください。これらについては斡旋部品（別売り）をご活用ください。詳しくはお買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」へご相談ください。

プログラム設定内容記録表

- 各種設定の内容を変更した場合は設定値を記録し、大切に保管しておいてください。

プログラム番号	行程	設定値										
		行程時間 (Fun)	冷水位 (Cold)	温水位 (Hot)	洗剤投入時間 (SOAP)	柔軟剤投入時間 (SOft)	助剤1投入時間 (OPt1)	助剤2投入時間 (OPt2)	ドラム回転強さの切替	脱水時間 (SP-t)	脱水回転数の切替 (SPin)	乾燥温度 (ondo)
P1	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P2	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P3	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P4	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P5	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P6	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
P7	洗い1											—
	洗い2											—
	すすぎ1											—
	すすぎ2											—
	すすぎ3											—
	すすぎ4											—
	脱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾燥												
プログラム番号	行程	設定値										
		乾燥温度 (ondo)	乾燥ボタン毎の乾燥時間 (dFun)	乾燥中のドアロックの有無 (LOC)								
dry	乾燥											

注1 行程時間が0分の行程は飛びこえて、次の行程に進みます。

(行程時間が0分の場合、各項目が設定されていても動作しません。)

注2 脱水行程の一つ前の行程の脱水時間 (SP-t) の設定は0分としてください。

(時間設定を行うと、脱水を連続して2回行うため、運転時間が長くなります。)

注3 乾燥中のドアロックの有無 (LOC) の設定はP1～P7の乾燥行程のドアロック設定に反映されます。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居または移設でお困りの場合は、お買い上げの販売店、または下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間:(365日)9:00~18:00

総合相談窓口

TEL  0120-656-292

FAX  0570-060-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡頂いた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

- <利用目的> ● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- <業務委託の場合> ● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

アフターサービスと保証について

- 保証書は必ずお受け取りの上、保存してください。
- 保証期間は設置日から1年間です。
- 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 商品の補修用性能部品の保有年数は製造打ち切り後 13 年です。
- 修理やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

＝ お客さまメモ ＝

・ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品番	HWD-7256G/7156G
設置年月日	年 月 日
お買い上げ販売店名	電話番号 () -

アクア 株式会社